

一般財団法人海外産業人材育成協会 御中

令和 4 年度 技術協力活用型・新興国市場開拓事業(制度・事業環境整備事業)
コロンビア及び中南米諸国におけるデザイン政策の課題・支援策等に関する調査業務

概要版 報告書

MRI 三菱総合研究所

2023年2月28日

目次

1. コロンビア共和国のデザイン政策	3
要約：政権交代後もクリエイティブ・文化産業への期待は高い	4
参考文献リスト：コロンビアのデザイン政策	15
2. 先進国、他の中南米諸国のデザイン政策	16
要約：他国もデザインに注目。中南米諸国は政策の継続性に課題	17
2.1 各国・地域のデザイン政策の位置づけ、先進国の取組事例	18
2.2 中南米諸国のデザイン政策、比較分析	26
比較分析：中南米諸国のデザインカウンスルに類する組織	49
比較分析：中南米諸国のデザイン表彰制度	54
参考文献リスト：他の中南米諸国のデザイン政策	60
3. 日本によるコロンビアのデザイン政策導入支援の可能性	66
要約：グッドデザイン賞の導入について、コロンビア側は高く評価	67
コロンビア政府との協議：今後の進め方	68

1. コロンビア共和国のデザイン政策

要約：政権交代後もクリエイティブ・文化産業への期待は高い

- ドゥケ前大統領政権(2018～2022年)は、クリエイティブ分野の発展・強化が、雇用と付加価値の創出、生産性向上、競争力強化、輸出促進、海外直接投資の誘致などに貢献するとして、「オレンジ経済」という包括的なクリエイティブ・文化産業の振興策を国策として展開してきた
- ペトロ新大統領政権は、「Economia Popular(大衆の経済)」を打ち出し、個人や零細企業、マイノリティー等の活躍に焦点を当てた政策を推進する意向。これにはデザインやクリエイティブ産業に携わる個人や中小企業も含まれると考えられ、デザイナーやクリエイター、起業家等の経済活動がより支援される体制が構築されていくと思料される

1 オレンジ経済は、クリエイティブ・文化領域の幅広いテーマを包含

- ・ オレンジ経済とは、クリエイティブな商品・サービスの幅広いサプライチェーン(創造、生産、商業化、等)を包含し、国際的なクリエイティブ・文化部門の定義よりも幅広い内容を含んでいる

2 特定の省庁に閉じず、中央・地方の多様な政府組織が連携して包括的な政策を実行

- ・ 12の省庁からなるオレンジ経済国家評議会を中心に、文化省や商工観光省などの省庁、プロコロンビアやインプルサなどの政府組織、地方政府など、多様な組織が参画することで包括的な施策を実施してきた

3 政権交代後も、地方政府によるクリエイティブ・文化産業への取り組みは継続

- ・ ボゴタ市が掲げる重点クラスターには「クリエイティブ・文化産業」と「スタートアップ支援」が含まれ、政府機関インプルサとも連携し、コロンビアの起業家を国外の投資家とつなげる活動を実施している
- ・ メデジン市は農業・軽工業依存からの脱却とIndustry 4.0による経済発展を目指し、インキュベーション施設の設立・運営や、Innovation Nodsプログラム等、クリエイティブ分野における様々な取組や支援を実施

オレンジ経済における、7つの注力領域の目標

- ドゥケ前大統領政権は「国家計画2018－2022」において、広範な分野を網羅する社会・経済開発の目標を設定した
- 当該計画の第10章「文化の保護と振興、オレンジ経済の発展のための協定」では、7つの注力領域に対して、社会変革の強力な推進力としての文化とクリエイティビティを開発するための詳細な目標と計画が設定されている

※ オレンジ経済の詳細な定義：知的財産権で保護される文化的・創造的な無形コンテンツに基づく商品・サービスの創造、生産、商業化に関連する活動。クリエイティブ産業のエコシステムに基づく文化・クリエイティブな商品・サービスの幅広いサプライチェーンを包含する

7つの注力領域		目標
1	情報 (Information)	オレンジ経済発展のための効果的な情報生成を促進する
2	制度 (Institution)	オレンジ経済の発展・強化のための制度環境と官民の連携を強化する
3	産業 (Industry)	クリエイティブ産業の発展のためのインセンティブの活用を強化する
4	インフラ (Infrastructure)	自治体、都市、地域のクリエイティブ・アジェンダとオレンジ開発地域の開発を促進する
5	統合 (Integration)	オレンジ経済と国際市場および他の生産部門との統合を促進する
6	包摂 (Inclusion)	オレンジ経済に人的資本を取り込むための条件を整備する
7	インスピレーション (Inspiration)	創造的インスピレーションを支えるものとして知的財産を推進する

主要組織の取組：オレンジ経済国家評議会

- オレンジ経済国家評議会は、オレンジ経済開発の推進役を担う組織として2018年に設立された
- 評議会は12の省庁によって構成されており、包括的なオレンジ経済政策を立案、実施、評価し、制度間の調整役を担う

組織概要

- オレンジ経済開発の推進役を担う組織として2018年に設立
- 12の省庁によって構成される文化省主導の組織
- 包括的なオレンジ経済政策を立案、実施、評価し、制度間の調整役を担う

主な取組内容

- オレンジ経済開発のための戦略推進
- 包括的なオレンジ経済政策の設計、実装および評価のためのアクションの調整
- 目標とクリエイティブ経済の影響を測定する指標の作成
- 知的財産モデルの管理
- コロンビア製認定シールによる認証制度「Creado en Colombia」プロモーションの調整
- 投資家に税制上の優遇措置を提供する役割を担うコロンビアクレアタレント社（CoCrea）を設立

主要組織の取組：プロコロンビア

- プロコロンビアは、1992年に設立された商工観光省に属する産業推進のための政府機関
- コロンビアへの外国投資の誘致、国内産業の輸出促進、観光振興や国のイメージ向上を担い、国内外のネットワークを活かして企業や起業家らに包括的なサポートとアドバイスを提供している

組織概要

- 1992年に設立された商工観光省に属する産業推進のための政府機関
- コロンビアへの外国投資の誘致、国内産業の輸出促進、観光振興や国のイメージ向上を担う
- 国内外に広がるネットワークを活かし企業や起業家らに包括的なサポートとアドバイスを提供する

主な取組内容

- オレンジ経済(クリエイティブ・文化産業)に関わる企業の支援と生産の拡大と輸出の増加を促進する
 - クリエイティブ産業の従事者らを対象とした海外貿易に関するセミナー・コンサルティングイベント「Futurexpos Naranja」の開催
- 情報やトレーニングへのアクセスを通じてコロンビアのクリエイティブ・文化企業のグローバル市場における能力を高める
- 輸出企業、外国人投資家、観光起業家のためのクリエイティブ・文化産業の部門別研究への着手
 - オレンジ経済イニシアティブの国際展開(輸出、外国直接投資、観光)に関する市場調査やプロフィールを含む11の報告書の作成
 - 文化観光に焦点を当てたプレスツアーの企画
- コロンビアのIT及びデジタル・クリエイティブ産業の促進
- 外国直接投資の促進
- 国際レベルでのコロンビア製認定シール「Creado en Colombia」のプロモーションとマーケティングの支援

主要組織の取組：インプルサ

- インプルサは、起業家精神やイノベーション、中小企業の革新的なビジネス・エコシステムの強化による経済発展を目的として、2012年に商工観光省傘下に設立された政府組織
- オレンジ経済下では、特に地方企業・中小企業等に関わるプログラムや起業家育成のための施策を複数展開している

組織概要

- 中小企業の革新的なビジネス・エコシステムの強化による経済発展を目的として、2012年に商工観光省傘下に設立された政府組織
- オレンジ経済下では、特に地方企業・中小企業等に関わるプログラムや起業家育成のための施策を複数展開

主な取組内容

- Apuestas Productivas Naranjaプログラム
 - 6つの県で各地の活動やクリエイティブ・文化産業関係者をマッピングし、アクションプランとロードマップの策定を実施
- オレンジ・ビジネス・ラウンドテーブル
 - 商工観光省とその関連組織Productive Colombiaが実施するプロダクトチェーン構築を目指すオレンジチェーンプロジェクトにおいて、大企業と起業家・ビジネスパーソンを結びつけ、企業の活性化につなげるオレンジ・ビジネス・ラウンドテーブルを実施
- 起業・イノベーション支援の包括的なプログラム「iNNpulso Naranja」
 - 8つのプログラムからなる起業家とイノベティブな企業のための包括的な支援策
 - ① 地方の人材の能力開発を行う「オレンジルート」
 - ② クリエイティブ・文化産業における起業家育成プログラム「オレンジALDEA」
 - ③ 各地域のクリエイティブ・文化産業のクラスター支援「オレンジクラスター」
 - ④ クリエイティブ・文化産業のベンチャー企業への資金援助「アーリーステージキャピタル」
 - ⑤ クリエイティブ・文化産業の中小企業によるイノベーションのための資金調達先「クラウドファンディング」
 - ⑥ クラウドファンディングの補完的な資金提供プログラム「オレンジボタン」
 - ⑦ クリエイティブ・文化産業の大企業・中堅企業を対象にしたセミナー「Mega-I オレンジ」
 - ⑧ 起業家のための新しい融資手段の設計「アントレプレナーシップキャピタル」

オレンジ経済における、インセンティブ策

- ドゥケ前大統領政権は、オレンジ経済の政策枠組みの中で、クリエイティブ・文化産業への4つの税制優遇措置を実施
- その他、新たな公的融資制度の導入や社会保障プログラムの対象拡大にも取り組んでいる

施策

概要

税制優遇措置

- ・ オレンジ経済政策下では4つの税制優遇措置が実施された
 - ①クリエイティブ産業従事者の5年間の所得税免除
 - ②クリエイティブ産業のプロジェクトへの投資または寄付額の165%に相当する投資家の税額控除
 - ③コロンビアのオーディオビジュアル制作への外国投資のための税額控除証明書
 - ④クリエイティブ産業の活動へ投資という形で税金の一部を納められる「ワークス・フォー・タックス」

公的融資制度

- ・ 「国家協調プログラム」(Programa Nacional de Concertación) といったクリエイティブ・文化分野に対する従来から実施されている助成金
- ・ コロンビア商業開発銀行(Bancóldex)は2018年8月～2021年12月の間に約12万社に対し3,500億ペソ以上を投資
- ・ 州の地域開発のための基金である領土開発基金(Finder)は地方自治体への支援を実施

社会保障制度

- ・ 2015年に開始された年金のない低所得者を対象とした社会保障プログラムである定期経済給付プログラム(Beneficios Económicos Periódicos: BEPS) をクリエイティブ・文化産業の従事者にも拡大
- ・ 2022年までに、BEPSのクリエイティブ・文化産業従事者への適用は、コロンビアの1,013自治体のうち783自治体に及んでいる

オレンジ経済における、人材育成・地域開発策

- 労働省傘下の国家トレーニング局を中心とするクリエイティブ人材育成や、地方政府が経済的・創造的活動の拠点として「オレンジ開発地域」を定め、クリエイティブ分野のイニシアティブが集結する環境づくりがなされるなど、多様な施策が実施されている

施策

概要

人材育成策

- ・ 国家トレーニング局(SENA)は産業や企業の生産力の強化、競争力の向上を目的に、技術やテクノロジー、その他補完的なトレーニングプログラムを提供する
- ・ オレンジ経済をターゲットとしたプログラムも提供し、現在はクリエイティブなスキルを取得するためのプログラムとして、782 のトレーニングプログラム、660 の短期コースを設置する
- ・ SENaが提供する起業家向けの助成金であるFondo Emprenderでは2018年からオレンジ経済向けシードキャピタルの提供を開始。政府が認定した教育機関を修了した者によるプロジェクトに対する資金提供で、262社の新たな企業が創設され、1,542人の雇用が創出されている
※オレンジ経済を対象とした助成金は現在も継続中の模様

地域開発策

- ・ オレンジ経済開発の目標の一つに、地域におけるクリエイティブ・アジェンダの推進と「オレンジ開発地域」(ADN)の開発が定められている
- ・ ANDはクリエイティブ・文化的活動の奨励・強化を目的に地方政府が設立する特別地区であり、地方政府にはクリエイティブ・文化活動拠点の活性化や施設整備のための投資促進のため、一定期間の固定資産税の一定割合の免除や不動産の売買にかかる税金の一定割合の免除、都市計画税の納税の免除等の措置が認められる

オレンジ経済に対する、新政権の評価と対応

- オレンジ経済に対してグスタボ・ペトロ政権は、前政権のイメージが強く残る「オレンジ経済」という概念を排除したい意向が強いが、政権交代後の混乱の中で具体的な政策は未だ明らかになっていない
- オレンジ経済政策の一部措置についてはその功績を認め、新政権下でも継続する意向を示しているが、中小企業やスタートアップ、イノベーション企業向けの優遇税制については、大きな見直しが迫られている状況である

政権交代後のオレンジ経済を巡る動向

- ・ 2022年8月1日、新政権への引継ぎ報告書の下で、オレンジ経済廃止を提言
- ・ 2022年8月3日、制作会社であるDynamo社のCEO、Andrés Calderón氏らがW Radioにて懸念を表明。これを受け新文化大臣のパトリシア・アリサ氏は、オレンジ経済政策の一部措置についてはその功績を認め、新政権下でも継続する意向を示した※
- ・ 2022年8月7日、グスタボ・ペトロ氏が大統領に就任、コロンビア史上初の左派政権が誕生
- ・ 2022年8月8日、大蔵・公債省が税制改革法案を提出。中小企業、スタートアップ、イノベーション企業向けの優遇税制について、新政権下ではその提案は継続検討されないとのこと

※ 8月3日に自身のツイッターアカウントを通じて「クリエイティブ経済の終焉、Cocreaプロジェクト(税制優遇措置)を終わらせない」旨を表明
URL: <https://twitter.com/PatriciaArizaF/status/1554784259419901952?s=20&t=B6ljE5PF5NKpAQQR7J2JZQ>

1. コロンビア共和国のデザイン政策

クリエイティブ・文化産業に関する新政権の政策方針

- ペトロ大統領は、就任式で10の約束のうちの1つとして「Economía Popular(大衆の経済)」を打ち出し、大企業のみならず、「非公式セクター」に属する個人や零細企業、マイノリティー等の活躍に焦点を当てた政策を推進する意向
- 政権交代後間もない中で具体的な施策は未だ実施されていないが、このEconomía Popularには、デザインやクリエイティブ産業に携わる個人や中小企業も含まれると考えられ、これらの政策を通じてデザイナー、クリエイター、起業家等の経済活動がより支援される体制が構築されていくと見通される

Economía Popular (新政権HPより)



Pacto con la economía popular

Proponemos un pacto con las economías populares que permita recuperar la confianza en el Estado y construir una sociedad basada en el reconocimiento del trabajo de al menos dos tercios de la población económicamente activa, que realiza su trabajo en la llamada informalidad, de los cuales el 80% trabaja por cuenta propia, principalmente en actividades que no les permiten ganar ni siquiera un salario mínimo mensual. El Estado reconocerá a estos trabajadores que producen valor social y económico sobre la base de la garantía de derechos.

Leer propuesta completa

私たちは、国家への信頼を回復し、経済人口の80%以上を占める大衆経済(Economía Popular)との約束を提案します。

(中略)公共政策は、大衆経済の労働者との直接協議のプロセスを通じて構築されます。国家は、拘束力のある参加を保障することにより、その組織形態を尊重し、行政上、規制上及び予算上の結果をもたらします。大衆経済の貿易と国民経済への貢献は、国民経済計算の中で認識され、特徴付けられ、目に見えるようになります。

我々は、国家、共同体、領土の組織と労働者の協力のための Economía Popular同盟(協会・団体)の形成を目標とし、人民経済の振興と強化のための制度を強化します。国家は、直接契約プロセスを通じて、透明性と説明責任の基準の下で、大衆経済から商品やサービスを購入します。(後略)

出所)コロンビア政府、<https://gustavopetro.co/economia-popular/>

El Colombiano紙、<https://www.elcolombiano.com/negocios/petro-invito-a-banqueros-a-trabajar-por-la-economia-popular-KL18462484>

クリエイティブ・文化産業に関する地方政府の取り組み 1/2

- 中央政府のオレンジ経済離れが進む一方で、地方政府によるクリエイティブ・文化産業への取り組みは継続している
- ボゴタ市が掲げる重点クラスターには「クリエイティブ・文化産業」と「スタートアップ支援」が含まれ、政府機関インプルスとも連携し、コロンビアの起業家を国外の投資家とつなげる活動を実施している
- また投資促進機関「Invest in Bogota」は、投資家誘致、スタートアップ支援の他、投資促進インセンティブを新政策で検討するための情報提供も行っている

ボゴタ市のクリエイティブ・文化産業における主な取組

分野	内容
オーディオビジュアル	・ コンテンツ撮影のための公共スペース使用を開放する等の規制緩和を実施。コンテンツ制作事業をサポートするため、資金調達先や、関連事業者の紹介等も行っている ・ 同分野のビジネスプラットフォームとして、ボゴタオーディオビジュアル市場(BAM)を設立 ・ その他ボゴタショート映画祭、ボゴタ国際映画祭等のイベントも後援している
音楽	・ コロンビアの音楽業界から281人のアーティスト、122人の国内バイヤー、83人の海外バイヤーが参加したThe BOmm(ボゴタミュージックマーケット)などの国内最大の音楽イベントを開催
その他	・ 広告マーケティング、ビデオゲーム、エンターテインメントといった分野を重点分野として挙げている

Invest in BogotaのHP



出所) Invest in Bogota HP <https://en.investinbogota.org/investment-sectors/creative-industries-bogota/>

及びInvest in Bogotaへのヒアリングより三菱総研作成

クリエイティブ・文化産業に関する地方政府の取り組み 2/2

- メデジン市政府のメデジン経済発展局(Medellin Economic Development Agency)は、投資促進機関(ACI Medellin)と連携し、同市の農業・軽工業依存からの脱却とIndustry 4.0による経済発展を目指している
- RutaNというインキュベーション施設の設立・運営や、Innovation Nodsプログラム等、クリエイティブ分野における様々な取り組み・支援を行っている

メデジン市におけるクリエイティブ・イノベーション促進の取組

分野	内容
Ruta N (インキュベーション施設)	・ タレント、ネットワーキング、インフラストラクチャーを3本柱とし、科学、技術、イノベーションにおける専門家が同分野におけるグローバル企業の誘致プログラムを検討・実行している ・ これまでに32か国から450の企業の誘致に成功し、大企業からスタートアップ、個人事業まで様々なタイプの企業が同施設を利用している。クリエイティブ産業系企業も多く在籍
オーディオ ビジュアル関連	ビデオゲームのデザイン、アニメーション、制作に係る人材育成を強化するため、大学と連携してカリキュラム、プログラム等を強化している
イノベーション	・ Innovation Nodsという取り組みを実施。健康、サステナブル運輸、アグロビジネス、エネルギー等の約10の社会課題分野において、解決策を検討し、それを解決できるイノベーション企業・スタートアップを募集し、コンペを行い、優勝者にはファンドを付与している ・ SENA大学等の教育機関にイノベーション、起業に特化したセンターを設置し、メデジン市政府が助成金や起業支援を実施している ・ Capital Semillaというプログラムでは、イノベティブな企画に対する補助金を提供している

メデジン市における「Ruta N」概観



出所)ACI Medellin HP, 及びメデジン経済発展局、ACI Medellinへのヒアリングより三菱総研作成

参考文献リスト：コロンビアのデザイン政策

- オレンジ経済概要：ユネスコ「UNESCO QUADRENNIAL PERIODIC REPORT COLOMBIA 2020」
<https://en.unesco.org/creativity/governance/periodic-reports/submission/5695>
- オレンジ経済概要：OECD「Culture and the Creative Economy in Colombia: Leveraging the Orange Economy」
<https://www.oecd.org/colombia/Culture-and-the-Creative-Economy-in-Colombia-PH.pdf>
- オレンジ経済重点目標：国家開発計画目標要旨
<https://colaboracion.dnp.gov.co/CDT/Prensa/PND-Resumen-2018-2022.pdf>
- オレンジ経済国家評議会：コロンビア政府公式HP オレンジ経済国家評議会に関するニュース
<https://www.funcionpublica.gov.co/-/12-entidades-publicas-hacen-parte-del-nuevo-consejo-nacional-de-economia-naranja-cnen>
- プロコロンビアの取組：プロコロンビア公式HP
<https://procolombia.co/>
- インプルサの取組：インプルサ公式HP
<https://www.innpulsacolombia.com/>
- オレンジ経済インセンティブ策：OECD「Culture and the Creative Economy in Colombia: Leveraging the Orange Economy」
<https://www.oecd.org/colombia/Culture-and-the-Creative-Economy-in-Colombia-PH.pdf>
- オレンジ経済人材育成策：SENA公式HP
https://www.sena.edu.co/es-co/formacion/Paginas/economia_naranja.aspx
- オレンジ経済地域開発策：国家開発計画2018－2022「Pacto por Colombia, pacto por la equidad」
<https://colaboracion.dnp.gov.co/CDT/Prensa/PND-Pacto-por-Colombia-pacto-por-la-equidad-2018-2022.pdf>

2. 先進国、他の中南米諸国のデザイン政策

- 2.1 各国・地域のデザイン政策の位置づけ、先進国の取組事例
- 2.2 中南米諸国のデザイン政策、比較分析

要約：他国もデザインに注目。中南米諸国は政策の継続性に課題

- 今回、先進国や他の中南米6カ国（アルゼンチン、コスタリカ、チリ、ブラジル、ペルー、メキシコ）のデザイン政策を調査

1 欧州の一部先進国を中心に、デザインの社会的価値に着目した政策が見られる

- ・ デンマークでは、国立デザインセンター（DDC）がソーシャルイノベーション・デザインの実践を主導し、現在は Digital Transition、Social Transition、Green Transition の3つの分野に注力している
- ・ 北欧諸国では、GX（グリーントランスフォーメーション）に対して国境を超えて連帯して取り組む動きが出ている（2023年7月に、「Nordic Platform」を発足予定）

2 中南米では、特にチリやコスタリカにおいてデザイン政策が積極的に施行されている

- ・ IDB等の国際組織がCCI（クリエイティブ・文化産業）に着目していることもあり、中南米全体としてクリエイティブエコノミーやクリエイティブ文化産業への注目度は高い。特に、チリはデザインに特化した政策、コスタリカは「クリエイティブカルチャー」という大きな枠組みで政策を実行
- ・ 早くからデザイン政策に着手していた国々（ブラジル、メキシコ、アルゼンチン）は、国家レベルの取組は下火になりつつあり、民間や地方政府のより小規模な単位でのデザイン振興が盛んになっている

3 政策の継続性には、民間組織との連携が不可欠

- ・ 多くの中南米諸国で政策が長期的に継続するということが困難な様子。大統領の交代によって政策の方針が大きく変わり、省庁の再編によって政策の監督省庁も変更されることもよく見られる（ブラジル、アルゼンチン等）。州や都市レベルにおいても、それまで実施されていた施策が突然終了となる例も存在（メキシコシティ）
- ・ 安定した継続が難しい政府組織の政策に代わって、多くの国では民間組織がデザイン推進の中核を担っている。各国でデザインが広く普及するかどうかは、強力に安定した民間組織の存在によるところが大きい

2. 先進国、他の中南米諸国のデザイン政策

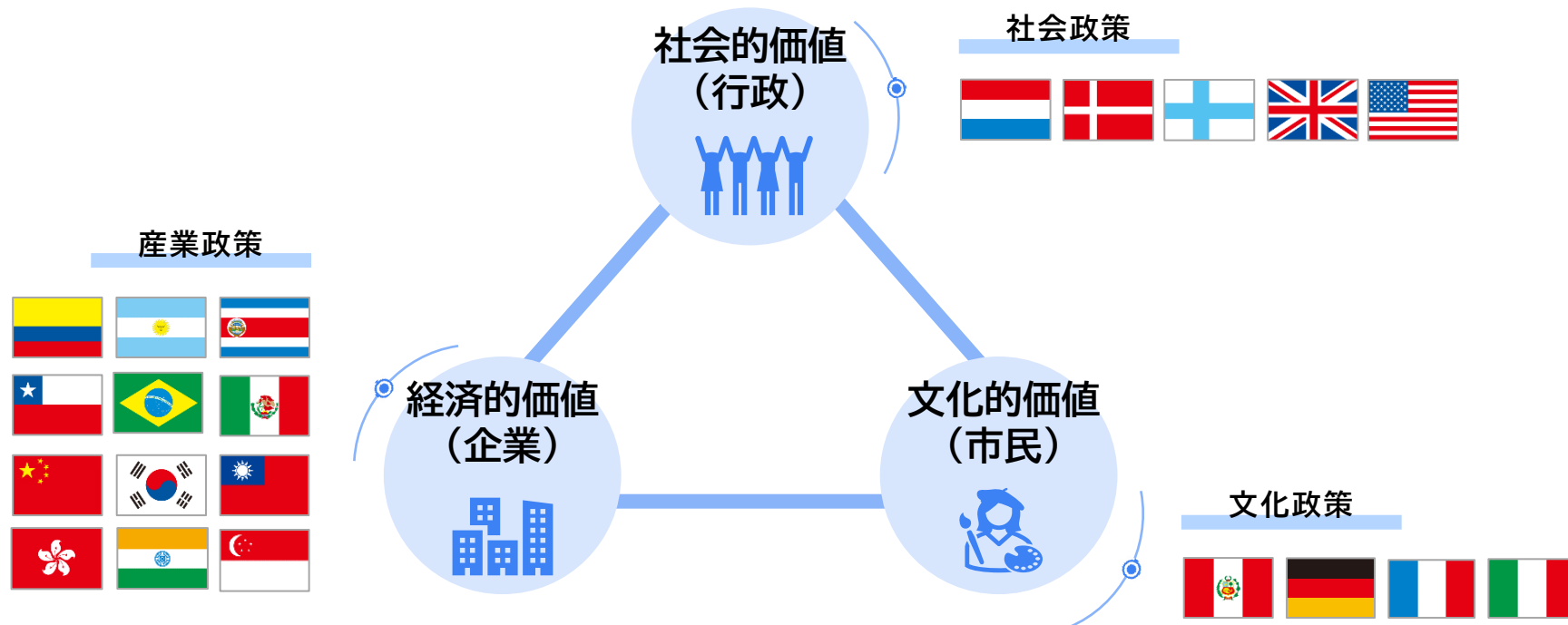
- 2.1 各国・地域のデザイン政策の位置づけ、先進国の取組事例
- 2.2 中南米諸国のデザイン政策、比較分析

デザインの価値と、各国・地域のデザイン政策の位置づけ

- デザインは、大きく3つの価値（経済的価値、文化的価値、社会的価値）を通じて、より豊かな社会の実現に寄与するものであり、各国・地域のデザイン政策はこれらの価値を起点に立案・実施されている
- 今日では、経済的価値や文化的価値を重視するデザイン政策が主流である一方、欧州の一部デザイン政策先進国を中心に社会的価値に着目した政策が見られる

デザインの価値と、各国・地域の政策の位置づけ※

※ 各国・地域の位置づけは、各々のデザイン政策を踏まえて、特に注力していると想定されるものに国旗・旗を記載している



先進国のデザイン政策事例：デンマーク王国 1/2

- デンマークでは、国立デザインセンター「Danish Design Center(DDC)」がソーシャルイノベーション・デザインの実践を主導しており、現在は Digital Transition、Social Transition、Green Transitionの3つの分野に注力している

DDC 組織概要

政策や企業におけるデザインを活用したイノベーション創出を目指す、デンマーク王国の国立デザインセンター

- 拠点：コペンハーゲン
- 人員体制：約40名（アートディレクター、プロジェクトマネージャー、デザイナー等）
- 予算：約2百万ユーロ（約2.8億円）

3つの注力分野

Digital Transition

- デジタルテクノロジーが急速に進化する中で、見落とされがちな「デジタル倫理」について、デザインからアプローチすることを目的としている
- 具体的には、企業がデジタルツール等を開発する際に、デジタル倫理の観点から製品に問題がないか調査・議論をするための「デジタル倫理コンパス」を開発

Social Transition

- デンマークで社会課題となっている若者の幸福度低下に対し、デザインを活用して若者のメンタルヘルスケアサポートを行うことを目的としている
- 現在ワークショップ等を通じて具体活動を計画中

Green Transition

- デザインを活用して魅力的な循環型社会を作ることとしている
- 2030年までにCO2排出量を70%削減するという政府目標の実現に向け、具体的な実行内容として「10のアクション」を定義の上、30社のパートナーとともに活動中

先進国のデザイン政策事例：デンマーク王国 2/2

- DDCでは、以下のような活動が具体的なソーシャルイノベーション・デザインの事例として紹介されている

プロジェクト例①

The Digital Ethics Compass デジタル倫理コンパス



概要

- 企業がデジタルツール等を開発する際に、デジタル倫理の観点から製品に問題がないか調査・議論するためのツール

デザインの貢献：デジタル倫理の観点から製品デザインを考える

- デジタル倫理に反しないようにデジタルツールをデザインするためにはどうしたらよいかを検討できる指針となっている
(例：ユーザーのデータ等を守るにはどのような設計にすべきか)

出所)DDC <https://ddc.dk/tools/toolkit-the-digital-ethics-compass/>
(最終閲覧日 2023年2月2日)

プロジェクト例②

Circular Cities 循環型都市



概要

- 希少資源を最大限に活用する、真の循環都市を作り出すデータ駆動型ソリューションの開発を行うプロジェクト
- ニューヨーク、トロント、アムステルダム、グラスゴー、コペンハーゲンの5都市をパートナーとして、循環型都市を作り出すためのデータ駆動型ソリューションを全世界から募集し、優れたものを表彰する

デザインの貢献：触媒としてデザイン思考を活用

- 自治体や企業、研究機関、市民との密な連携が重要なプロジェクトにおいて、デザイン思考を議論の触媒として活用している

出所)DDC <https://ddc.dk/projects/new-innovation-project-circular-cities/>
(最終閲覧日 2023年2月2日)

先進国のデザイン政策事例：オランダ王国 1/3

- オランダでは、クリエイティブ業界のコンソーシアム「Click NL」がソーシャルイノベーション・デザイン実践の主導的な役割を果たしている

Click NL 組織概要

オランダ王国のクリエイティブ産業の従事者、企業、研究者等で形成された業界組織で、政府・研究機関・クリエイティブプロフェッショナル・企業をつなぐプラットフォーム

- 拠点：独自のオフィススペースや所有物を持たないバーチャルな組織として機能
- 人員体制：ボードメンバー6名、プログラムカウンシルメンバー約20名
- 予算：2020年度総支出額 約4百万ユーロ（約5.6億円）

主な活動

① クリエイティブ産業の イノベーションアジェンダの策定・実行

- 政府主導のトップセクター政策をベースにして、クリエイティブ産業が今後数年間で力を入れて行う取組みの内容やその方向性を示すアジェンダを作成
- アジェンダにおける施策として、クリエイティブプロフェッショナル（クリエイティブ産業で活躍する人材）が持つナレッジや暗黙知、スキル、経験等について、研究機関等と連携して理論的に明らかにし、社会に発信する取り組みなどが行われている

② クリエイティブプロジェクト遂行・支援

- 政府から示された4つの社会課題テーマ（エネルギー転換と持続可能性、農業・水・食料、ヘルス＆ケア、安全）に資するプロジェクトを、教育・文化・科学省や、傘下のファンディング機関等の支援を受けて立案・遂行
- Click NLが主導するPJ以外ではサポートを実施

③ 官民パートナーシッププログラム 支援金申請支援

- 民間企業と研究機関の共同プロジェクトや、公益団体が行う研究プロジェクトへの個人による寄付に対して、経済・気候政策省から支給される支援金制度の申請窓口として機能

④ 政府・研究機関・クリエイター・企業を つなぐ、プラットフォーム機能

- 政府と業界のコミュニケーションチャネルや業界内の情報共有ネットワークとして機能

2. 先進国、他の中南米諸国のデザイン政策

先進国のデザイン政策事例：オランダ王国 2/3

- Click NLを中心に、各関連組織が役割分担をして機動的にソーシャルイノベーション・デザインの実践を行っている点がオランダの特徴といえる

オランダのソーシャルイノベーション・デザイン実践スキーム



出所) ClickNL HPを基に三菱総合研究所作成 <https://www.clicknl.nl/> (最終閲覧日2023年2月2日)

先進国のデザイン政策事例：オランダ王国 3/3

- Click NLでは、以下のような活動が具体的なソーシャルイノベーション・デザインの事例として紹介されている

プロジェクト例 ①

FUNDA HUIS FUNDAハウスプロジェクト



概要

- 住宅のマッチングサービス大手「FUNDA」が蓄積しているデータを活用し、「平均的なオランダ人の理想の家」を設計するプロジェクト
- プロジェクトのきっかけは、今日の家族構成や生活様式にあった住宅を設計するニーズが出てきたこと（オランダにおける既存住宅は、1960-1985年の間に建設されたものが60%を占めている）
- 建築家がFUNDAの保有するビックデータを解析し、理想の家である「FUNDA HUIS」を設計、今後実際に建設される予定

デザインの貢献：需要主導型のビジネスモデルの開発

- ビックデータを分析・解釈し、住宅における新たなトレンドやニーズを発見し、住宅設計に反映させるプロセスを生み出した

プロジェクト例 ②

HACK SHIELD ハックシールドプロジェクト



概要

- 8-12歳の子供たちが、遊びながらデジタルセキュリティを学べるゲーム「Hack Shield」を製作するプロジェクト
- プロジェクトのきっかけは、オンライン環境に幼いうちから身を置くようになった一方で、初等教育においてサイバーセキュリティに関心が払われていないため

デザインの貢献：効果的な学習のサポート

- 学習効果の向上と継続性を持たせるために、クリエイティブ業界で使用される手法であるゲーミフィケーション（ゲームの原理や技術を応用して行動を促すこと）や、ストーリーテリング（より大きなインパクトとエンゲージメントを確保するためにストーリーを語ること）を活用している

出所) Click NL <https://www.clicknl.nl/cases-kia-2020-2023/case-funda-huis/>
(最終閲覧日 2023年2月2日)

出所) Click NL <https://www.clicknl.nl/cases-kia-2020-2023/case-hackshield/>
(最終閲覧日 2023年2月2日)

北欧諸国の連携した取り組み

- 北欧諸国では、GX(グリーントランスフォーメーション:産業革命以来の化石エネルギー中心の産業構造・社会構造をクリーンエネルギー中心へ転換する)に対して連帯して取り組む動きが出ている
- 「Nordic Platform」は、デザイン・建築分野でGXの先駆者となるために北欧諸国の戦略的協力を強化することを目的としている

Nordic Platform 設立背景

- ・ 北欧諸国にとってGXは重要な社会課題であり、解決に向けて北欧諸国の戦略的な協力関係強化が重要
 - ・ デザインと建築は、北欧のビジネスにおける競争力と発展を高め、都市やコミュニティの持続可能な変革に貢献するという点で、GXの重要な推進力となりうる
 - ・ 様々なターゲット、ビジネスモデル、権限を持った組織が協力することで、公共・民間領域ともに影響力を持つことができ、最終的には市民に付加価値をもたらすことができる
- ※ 2023年7月にコペンハーゲンで開催されるUIA世界建築会議の際に正式発足を予定

参加国・組織

- ・ デンマーク
 - デンマークデザインセンター(Danish Design Centre) / デンマーク建築センター(Danish Architecture Centre)
- ・ フィンランド
 - デザインフォーラムフィンランド(Design Forum Finland) / フィンランドデザイン情報(Finnish Design Info)
- ・ スウェーデン
 - スウェーデン国立建築・デザインセンター(Sweden's national center for architecture and design) / フォーム・デザインセンター(Form/Design Centre)
- ・ アイスランド
 - アイスランドデザインと建築(Iceland Design and Architecture)
- ・ ノルウェー
 - ノルウェーデザインと建築(Design and Architecture Norway)

2. 先進国、他の中南米諸国のデザイン政策

- 2.1 各国・地域のデザイン政策の位置づけ、先進国の取組事例
- 2.2 中南米諸国のデザイン政策、比較分析

中南米諸国のデザイン政策一覧 1/2

デザイン政策の概要・特徴



アルゼンチン共和国

- ・ 科学技術イノベーション省、経済省が中小零細企業を対象としたイノベーションや競争力の向上にデザインを活用するための施策を展開する
- ・ 文化産業部門への大規模な投資をする連邦文化計画を発表するなど、文化政策・文化産業支援にも力を入れている



コスタリカ共和国

- ・ クリエイティブ産業による社会・文化・経済の発展を目的に「コスタリカクリエイティブカルチャー戦略2020-2030」を展開。専門家らの対話による公共政策の構築が進められている
- ・ デザインは視覚芸術の一分野ながら、デザイン・クラフトデザイン委員会が設置され、官民の対話によるデザインへの取り組みが始まっている



チリ共和国

- ・ 政府は天然資源依存の経済から、イノベーションとクリエイティブセクターによる経済への転換という方針を掲げ、クリエイティブエコノミーを推進。デザインは優先分野とされデザイン振興計画も策定されている
- ・ 政府組織ガバメントラボによるデザイン手法を用いたイノベーション創発や社会課題解決など、デザインの社会的価値を政策に導入している



ブラジル連邦共和国

- ・ かつては積極的なデザイン政策が国・地方政府レベルで進められていたが、現在はブラジルデザインセンターやSEBRAE等、多様な民間組織によるビジネスへのデザイン活用が推進されている
- ・ 民間主催のデザイン賞では社会課題の解決という点が重視され始めている

調査からの示唆

一部の省庁ではデザインを戦略的イノベーションの要素として捉えているものの、デザインの活用は産業振興の範疇に留まっており、省庁の枠を超えた分野横断的なデザイン政策は実施されていない

デザインはクリエイティブカルチャー産業における芸術分野の1つという狭義の領域に留まる。しかし、現在進行している官民の対話を通して、デザインの新たな取組が生み出される可能性がある

デザイン振興計画内ではチリにおけるデザインが狭義のデザインに留まっているとの指摘があるものの、ガバメントラボやデザイン賞など、デザインの社会的価値が浸透しつつある

国としてどの程度デザインに注力するかは不明であるが、民間のデザイン賞ではソーシャルデザインやソリューションが募集されるなど、デザインの社会的価値が注目されている

中南米諸国のデザイン政策一覧 2/2

デザイン政策の概要・特徴



ペルー共和国

- ・「文化政策」の枠組みでクリエイティブ産業の振興・強化への対策を進めるが、デザインには言及しておらず、関連する取組も乏しい
- ・政策よりも民間による取組の方が活発であり、デザイン協会がデザイン賞、ビエンナーレのイベントやコンサルティングサービス等によるデザイン産業の振興を図っている



メキシコ合衆国

- ・近年は国策としてクリエイティブエコノミー推進のイニシアチブ「クリエイティブメキシコ」を実施
- ・ワールドデザインキャピタルに任命されたメキシコシティ、省庁内にデザイン部門を設けデザイン推進のためのプラットフォームを構築するハリスコ州など、地方政府レベルで独自のデザイン政策が進められる

調査からの示唆

国としてのデザイン政策は限定的であり、クリエイティブ産業の振興に着手する程度。民間の活動もデザインはビジュアル面の狭義のデザインに留まっている

民間のデザイン賞や地方政府レベルではデザインを用いた社会課題の解決に着目するなど、**広義のデザイン**の取組が散見されるが、**国策の中でデザインがどの程度注視されているのかは不明**

アルゼンチン共和国 1/3

Key word

認証制度

競争力向上

イノベーション

文化政策

中小企業支援

デザインセンター



概要

- デザインをイノベーションのための戦略的要素として取り入れ、中小企業や産業競争力を強化することを目的としたデザイン政策を実施
- 芸術・文化活動の支援、文化産業への資金援助など、文化政策にも力を入れている

主な取組

1. アルゼンチン・グッドデザイン・シール(Sello del Buen Diseño Argentino)

- ・イノベーション、持続可能な地域での生産、デザインの質と市場での地位等で際立った国内産業の製品に与えられる認証制度。中小企業等がデザイン戦略を取り入れることで産業プロセスや製品の競争力を向上させ、その能力を高めることを目的とする

2. アソシエティブ・デザイン・プロジェクト(Proyectos asociativos de diseño)

- ・科学技術イノベーション省による中小零細企業や協同組合など小規模な生産組織に対する資金援助策。イノベーションのための戦略的要素としてデザインを取り入れることを目的としたプロジェクトに対し、1プロジェクト当たり上限約150万ペソの補助金が提供される

3. PyMES D

- ・旧生産労働省が展開、現在は経済省が所管する中小企業や協同組合を対象としたデザイン支援プログラム。地域産業の競争力の向上等を目的として、デザインやイノベーションを支援する専門家の雇用費用を補助し、生産部門にデザインを取り入れるための技術支援を行う

4. 芸術・文化分野のトレーニングに対する助成金「Becas Formación」

- ・アーティスト、作家、職人、建築家等のためのトレーニングとトレーニングプログラムを支援し、促進するための助成金制度。トレーニングプログラムの受講者及び無料トレーニングの提供者が対象となる

5. メトロポリタン・デザイン・センター(Centro Metropolitano de Diseño:CMD)

- ・民間または公的イニシアティブの支援とデザイン産業の活性化を目的とした多様な取組を進める。国際的なデザインイベントの開催の他、起業家のインキュベーション、無料のトレーニングプログラム等を提供している

2. 先進国、他の中南米諸国のデザイン政策

アルゼンチン共和国 2/3



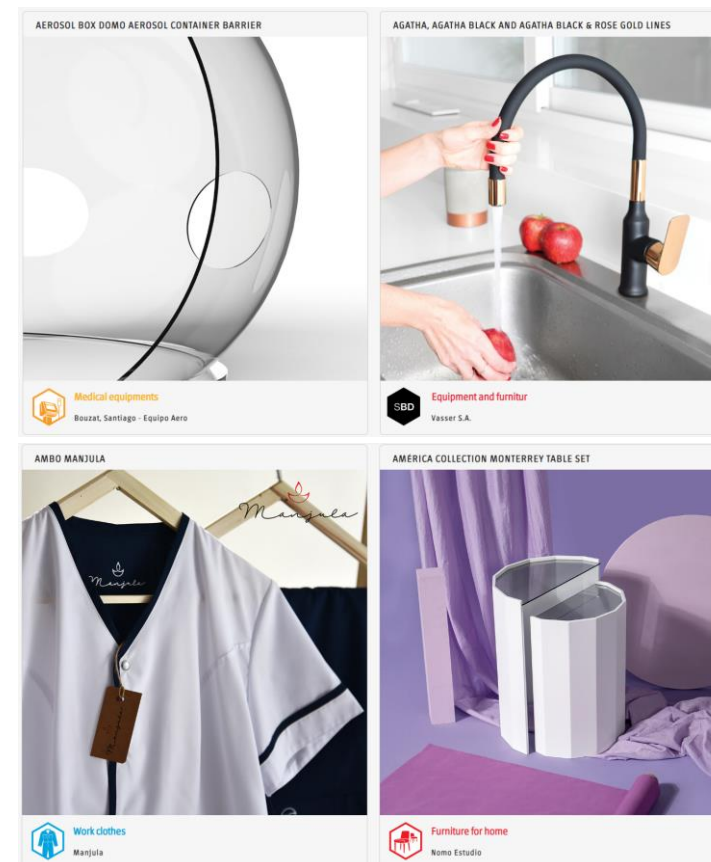
アルゼンチン・グッドデザイン・シール / 経済省

背景・目的

- アルゼンチンの中小企業等がデザイン戦略を取り入れることで産業プロセスや製品の競争力を向上させ、その能力を高めることを目的とする
- 2011年に生産開発省によって開始されたが現在は経済省所管となっている

概要

- イノベーション、持続可能な地域での生産、デザインの質と市場での地位等で際立った国内産業の製品にアルゼンチン・グッドデザイン・シールの認証が与えられる
- 公募は年に1回、中小企業を対象とする
- 製品カテゴリーは、①産業用・輸送用製品、②家具・装備品、③ホーム・オフィス・レジャー製品、④服飾雑貨、⑤戦略的コミュニケーション
- 認証のベネフィットは、製品プロモーション、マスメディアへの露出、製品輸出に関するアドバイス、国内外の見本市への参加、グッドデザインマークのパッケージ表示、商談会や展示会、グッドデザイン・シールのカタログへの掲載等



画像出所：
<http://sbd.produccion.gob.ar/ediciones/2020/>
 （2023年1月31日閲覧）

参考URL：<http://sbd.produccion.gob.ar/home-sbd-eng/>（2023年1月31日閲覧）

アルゼンチン共和国 3/3



BAテクノロジーラボラトリー / メトロポリタン・デザイン・センター

背景・目的

- ブエノスアイレス市で初の無料で利用できる公立のラボ
- メトロポリタン・デザイン・センターは、デザインの効果的な活用によって市民生活の質を向上させることを目的に2001年に設立された

概要

- アイデアを具現化するプロジェクト実施のため、利用者はラボ及び道具類を無料で利用でき、専門家による技術的なアドバイスも受けることができる
- ラボは近隣住民、企業、学生らに毎日午前9時～午後4時まで解放されている



画像出所：
<https://buenosaires.gob.ar/innovacion/cienciaytecnologia/laboratorio>（2023年1月31日閲覧）

コスタリカ共和国 1/3

Key word

産業振興

クリエイティブ
カルチャー

IDBプロジェクト

産官学連携

デザイン教育

国家戦略



目的

- コスタリカのクリエイティブ・文化産業の発展を促進するため、中小企業の成長を促すエコシステムを確立し、国内および国際市場での競争力を高めることを目的とした「コスタリカクリエイティブカルチャー戦略2020ー2030」を実施
- クリエイティブ産業の振興を目的に官民の対話により公共政策を構築する取組を進めている

主な取組

1. コスタリカクリエイティブカルチャー戦略2020ー2030

- 文化的・創造的な取組や産業を後押しし、起業家精神を高め、競争力を促進するための中小企業の発展を支援するエコシステムを確立し、国内および国際市場での競争力を高める条件を整備することが目的。
国内の芸術文化分野を4つのセクター「オーディオビジュアル」、「舞台芸術」、「視覚芸術」、「地域アイデンティティ」に分け、各実行委員会を設置。デザインは「視覚芸術」分野に含まれるが、独立したサブ分野としてラウンドテーブルを形成し、デザインに関する取組を進めている

2. デザインコンセンティド/Diseño con-sentido

- IDBの協力により文化・青年省が主催した、デザイナー、アーティスト、職人、クリエイター、プロモーター、クリエイティブ・カルチャー製品のマーケティング担当者を対象としたバーチャル・カンファレンス。
上述の「コスタリカクリエイティブカルチャー戦略2020ー2030」のデザイン/クラフトデザイン委員会が文化産業に関わる人材のトレーニングやサポートを強化する機会として提案し、コーディネートしている

3. IDBプロジェクト:Support for Costa Rica's Creative and Cultural Ecosystem

- IDBはコスタリカにおけるクリエイティブ産業の発展を促進するためのプロジェクトを2019年から実施。
上述のデザインコンセンティドはこのプログラムから資金が拠出されたと推測される

4. 工芸・デザインフェア:Hecho Aquí

- 2015年から続く、コスタリカのアイデンティティを表す製品を集めた工芸とデザインのフェア。
対象領域は工芸、デザイン、アグリビジネス、ガストロノミー、ビジュアルアート、文学、編集のクリエーション。
今年度はコスタリカ文化のアイデンティティと多様性、環境保護への取組、先住民族やアフロ・カリビアン文化の尊重を反映するプロジェクトが募集される

コスタリカ共和国 2/3



Support for Costa Rica's Creative and Cultural Ecosystem / IDB

背景・目的

- コスタリカにおけるCCI(クリエイティブ文化産業)は経済成長に貢献できる高い潜在能力を持つが、情報や組織間の調整、政策手段などの不足によりCCIの利用は限定的
- IDBはコスタリカにおける文化的・創造的エコシステムの発展を促進することを目的とした公共政策の立案、実施、モニタリング、評価のための能力向上のためのプロジェクトを2019年から実施

概要

- クリエイティブ文化産業の開発促進を目的に、以下のアクションを実施
※カッコ内は投入された資金(米ドル)
 1. 創造的・文化的エコシステムの測定、マッピング、診断(\$80,000)
 2. 公共政策手段のポートフォリオの設計(\$100,000)
 3. 制度的な強化(\$55,000)
 4. コミュニケーションと啓発(\$15,000)

Presupuesto Indicativo

Actividad/Componente	BID/Financiamiento por Fondo	Contrapartida Local	Financiamiento Total
Medición, mapeo y diagnóstico del ecosistema creativo y cultural	\$ 80,000.00	\$ 0.00	\$ 80,000.00
Diseño de un portafolio de instrumentos de política pública	\$ 100,000.00	\$ 0.00	\$ 100,000.00
Fortalecimiento institucional	\$ 55,000.00	\$ 0.00	\$ 55,000.00
Comunicación y sensibilización	\$ 15,000.00	\$ 0.00	\$ 15,000.00

画像出所:

<https://idbdocs.iadb.org/wsdocs/getdocument.aspx?docnum=EZSHARE-134827350-3> (2022年12月14日閲覧)

コスタリカ共和国 3/3



工芸・デザインフェア /

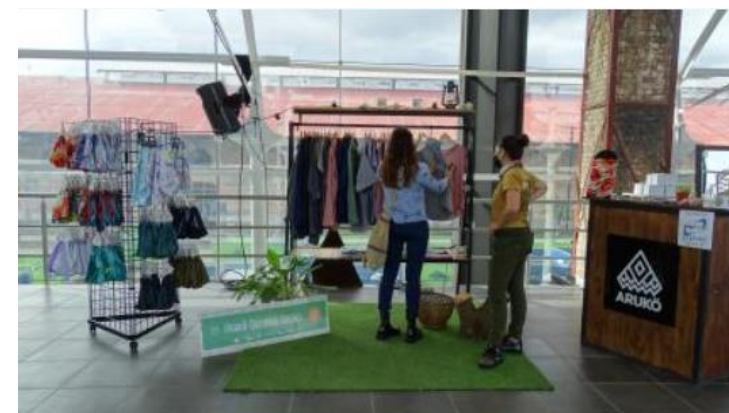
文化・青年省(MCJ)、芸術・文化制作センター(CPAC)

背景・目的

- 2015年に開始された工芸品とデザインのフェア
- アイデンティティを持った生産に焦点を当て、文化的コンテンツ、機能性、革新性、持続可能性を文化企業に付加するツールとして、工芸とデザインの相互作用を促進することを目指す

概要

- コスタリカの職人や生産者が作るアイデンティティのある製品の一大マーケット
- マーケティングエリアの他、製品の 카테고리やセクターを支援するために実施されているプログラムを説明する展示やセッションなどが催される
- 第8回目の開催となる2022年は、コスタリカ文化のアイデンティティと多様性、環境保護への取り組み、先住民族やアフロ・カリビアン文化の尊重を反映する製品、デザイン、視覚芸術、アグリビジネス、ガストロノミ、文学、編集のプロジェクトが募集された



画像出所: <https://mcj.go.cr/sala-de-prensa/noticias/feria-hecho-aqui-2022-abre-convocatoria> (2022年12月15日閲覧)

参考URL: <https://www.presidencia.go.cr/comunicados/2016/09/encuentro-reunira-creatividad-de-artesanos-y-disenadores/>
<https://mcj.go.cr/sala-de-prensa/noticias/feria-hecho-aqui-2022-abre-convocatoria> (2022年12月15日閲覧)

チリ共和国 1/4

Key word

公共領域への活用

社会課題解決

IDBプロジェクト

政府ラボ

クリエイティブ
エコノミー

デザイン戦略



概要

- 政府は従来の天然資源に依存する経済から、イノベーションとクリエイティブセクターによる経済への転換という方針を掲げ、国策としてクリエイティブエコノミーの推進を進めている
- デザインはクリエイティブエコノミー推進のための優先分野の1つとされ、「デザイン振興計画」やデザインに特化した助成金制度などが整備されている

主な取組

1. デザイン振興計画（Politica de Fomento Del Diseno 2017～2022）

- チリにおけるデザインの規制・制度の枠組み、歴史背景、教育、評価と普及の手段など、デザインに関連する多様な分野・組織の現状や取組、考察・分析、課題をまとめ、具体的な目標と施策を提示している

2. デザインに対する助成金：芸術・文化振興、遺産保全を目的に設立された文化開発芸術国家基金

- デザインに関連する活動に対する助成金を提供。毎年実施されているデザイン関連活動への国家助成金の公募は、「制作・創造」、「研究」、「普及」の3つのカテゴリーに分けられ、1プロジェクト当たりの上限金額は制作・創造、普及が2,000万ペソ、研究が1,500万ペソである

3. クリエイティブエコノミー振興国家計画 (plan nacional de fomento ala economía creativa)

- 2020年に策定されたクリエイティブエコノミー振興のための国家計画。芸術・文化・創造性を多面的な公共政策の観点からとらえ、経済・社会的な効果を高める規制の枠組みを強化することを目的とする

4. チリクリエイティブ(ChileCreativo)

- 生産開発機構(CORFO)によるクリエイティブエコノミー推進のための官民連携の取組。クリエイティブセクターの多様な主体間の戦略的・連携的なプロジェクトを支援し、国の経済を活性化させることを目指す。活動には、IDBが実施するチリにおけるクリエイティブ産業振興プロジェクトの資金が投入されている

5. ガバメントラボ(Laboratorio de Gobierno)

- チリの財務省に属する、パブリックイノベーションの創発を目的とした組織。社会課題の解決のために公共機関のイノベーションを実現し、より良い公共サービスを提供できるようにすることを目指す



チリ共和国 2/4

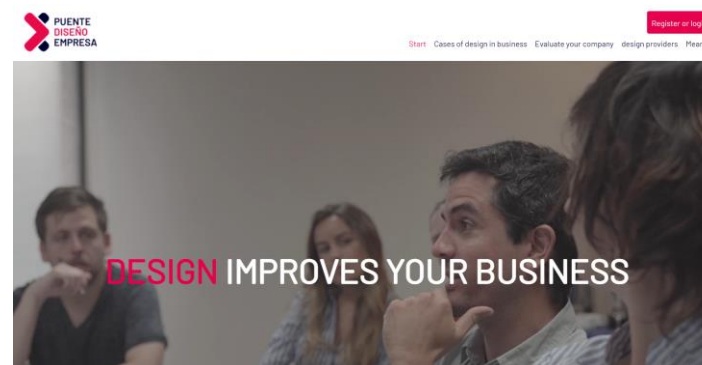
Chile Creativo(チリクリエイティブ) / CORFO

背景・目的

- チリ政府は天然資源に頼る経済から、イノベーションとクリエイティブセクターによる経済への転換を進める
- CORFO(生産開発機構)がクリエイティブエコノミー振興のための官民連携による取組として推進する

概要

- 音楽やオーディオビジュアル、出版、デザイン等、クリエイティブセクターのアクター間の戦略的・連携的プロジェクトの形成・推進を支援する。これまで実施されたデザインに関連するプロジェクトは以下
 - テクノロジーセンターの設立: オーディオビジュアル、音楽、出版、ビデオゲーム、デザイン、建築、バーチャルリアリティなどのセクターを対象としたクリエイティブ産業のためのテクノロジーセンター
 - ブリッジ・デザイン・カンパニー/Puente Diseno Empresa: 企業が自社のデザインレベルを判定し、自社にふさわしいデザインサービスを採用できるようサポートするイニシアチブ
- チリのクリエイティブセクターのアクターらと協力し、ロードマップの策定、セクターのマッピング、診断、調査研究等を行う



画像出所: <https://puentedisenoempresa.cl/>
(2022年12月14日閲覧)



チリ共和国 3/4

Support for the recovery of the Creative Industries sector in the Context of COVID-19 / IDB

背景・目的

- チリ政府は過去10年間クリエイティブエコノミーの発展を目指してきたが、制度的枠組みの確立が課題となっている。また新型コロナウイルスによりクリエイティブ部門が特に大きな影響を受けている
- IDBはチリにおけるクリエイティブ・セクターの生産的振興のための戦略を更新するプロジェクトを実施。クリエイティブエコノミー推進のためのロードマップの見直し・調整を進めている

概要

- IDBはチリクリエイティブを通じ、以下の資金を提供(計US\$150,000)
 1. 新たなアクターと課題の診断: ロードマップ2021-2025の設計に必要な事項に関する専門家のアドバイスに資金を提供する(US\$20,000.00)
 2. チリクリエイティブ・プログラムのロードマップ2021-2025の構築: プログラムの新しいロードマップを構築するための活動に資金を提供する(US\$60,000.00)
 3. セクターへの支援メカニズムとしてのマッチングファンド: クリエイティブ・セクターの企業に対する新しい支援メカニズムの設計と試験的実施の支援(US\$60,000.00)
 4. モニタリングシステム: デジタルロードマップシステムへの資金提供(US\$10,000.00)

Presupuesto Indicativo

Actividad/Componente	BID/Financiamiento por Fondo	Contrapartida Local	Financiamiento Total
Diagnóstico de nuevos actores y desafíos	US\$20,000.00	US\$0.00	US\$20,000.00
Construcción de la Hoja de Ruta 2021-2025 del Programa Chile Creativo	US\$60,000.00	US\$0.00	US\$60,000.00
Matchfunding como mecanismo de apoyo al sector	US\$60,000.00	US\$0.00	US\$60,000.00
Sistema de monitoreo	US\$10,000.00	US\$0.00	US\$10,000.00
Total	US\$150,000.00	US\$0.00	US\$150,000.00

画像出所:

<https://idbdocs.iadb.org/wsdocs/getdocument.aspx?docnum=EZSHARE-1919808000-3>
(2022年12月14日閲覧)

参考URL: <https://idbdocs.iadb.org/wsdocs/getdocument.aspx?docnum=EZSHARE-1919808000-3> (2022年12月14日閲覧)



チリ共和国 4/4

Laboratorio de Gobierno / ガバメントラボ

背景・目的

- 2015年に発足した公共サービスのイノベーション創発のための行政組織
- ラボと省庁の職員による混成チームが政府系機関にコンサルティングを行う

概要

- ラボは、ユーザー中心の公共サービス改善のためのツールであるパブリック・イノベーションの実践・推進・強化を目的として、主に3つのサービスを提供している
 1. アジャイル・コンサルティング:
市民に影響を与える問題に対する具体的な解決策を共に創発するため、柔軟でユーザー中心であるイノベーションの方法論を用いて公共機関にコンサルティングを提供する
 2. パブリック・イノベーション・インデックス:
公共サービスのイノベーション能力を測定するための指標。この指標は、IDBとの提携により、ミッションの1つである「公共サービスと市民との関係の改善」を目的に開発された
 3. パブリック・イノベーター・ネットワーク:
公務員や社会のその他のアクターをつなぎ、パブリックイノベーションのためのトレーニングを提供。ネットワークを通じて革新的なソリューションをシェアする



Agile Consulting

The Agile Consultancy of the Government Laboratory accompanies public institutions in the co-creation of concrete solutions to problems of citizen impact



Public Innovation Index

The Public Innovation Index aims to measure the innovation capabilities of public services, and thus help them strengthen their public value in complex contexts



Public Innovators Network

We connect and train public servants and other actors in society, accelerating the decentralization of practices and capacities to innovate

画像出所: <https://www.lab.gob.cl/> (2022年12月14日閲覧)

ブラジル連邦共和国 1/3

Key word

中小企業支援

輸出支援

競争力向上

民間主導

表彰制度

社会課題解決



概要

- かつては積極的なデザイン政策が国・地方政府レベルで進められていたが、現在はブラジルデザインセンターやSEBRAE等、多様な民間組織によるビジネスへのデザイン活用が推進されている
- デザインやイノベーションをブラジル企業の競争力向上のために戦略的に活用することが目指されている他、民間主催のデザイン賞では社会課題の解決という点が重視され始めている

主な取組

1. ブラジルデザインセンターの取組

- 97年に設立されたパラナデザインセンターを前身とし、現在はブラジルにおけるデザイン文化の普及を掲げ全国規模でデザイン活用を推進する。企業におけるデザイン普及のためのプログラムの作成、企業と教育機関の統合のための提案の作成、国内および国際コンペティションの開催、インターネット上の情報ポータル運営、文化プロジェクトの実施、国内および国際展示会の開催等、民間・政府組織のデザイン・イニシアティブに関与

2. SEBRAEの取組

- 中小零細企業の競争力強化と持続的発展を推進するための民間企業。全国で事業を展開し、ブラジリアの本部と全国約2,700拠点にてあらゆる分野の中小企業にオンラインコースやセミナー、コンサルティング、技術支援を提供する。かつては各地にデザインセンターを設立するなど大規模なデザインプログラムを実施していたが、現在はイノベーションやデザインに関する無料のオンラインコースやデザイン教材を提供している

3. デザイン賞 Brasil Design Award、Design for a Better World Award

- 国内市場のベストプロジェクトやデザイン企業を評価するデザイン賞であるBDAは、ソーシャルデザイン、持続可能なデザインを含む11部門の賞が実施されている。また、ブラジルデザインセンターによって2021年から新たに開始されたDesign for a Better World Awardは、デザイン、イノベーション、インパクトという点で評価されるソリューションに対して与えられる賞であり、より社会課題の解決を志向するものとなっている

4. デザイン輸出プログラム

- ブラジル貿易投資振興庁とブラジルデザインセンターがパートナーシップを締結し実施している、輸出用の製品とパッケージの開発を支援することでブラジル企業の海外での競争力強化向上を図るプログラム。参加する企業はコンサルティングサービス、トレーニング、技術的・財政的支援を受けることができる

ブラジル連邦共和国 2/3



デザイン思考オンラインコース / SEBRAE

背景・目的

- SEBRA(ブラジル中小零細企業支援サービス)は中小零細企業の競争力強化と持続的発展を推進する民間企業
- 中小企業にコースやセミナー、コンサルティング、技術支援を提供する

概要

- 現在提供されているデザイン思考オンラインコース例
 - 「デザイン思考:ソーシャルメディアの成果向上」 全9時間
 - 「企業におけるデザイン」 全3時間
 - 講義「デザイン思考」 全1回
 - 講義「デザイン思考:ビジネスの改革」 全1回
 - 講義「それは一体何だ?デザイン思考」 全1回
 - 講義「UX/UIデザインによっていかに新たな顧客経験を創り出すか」 全1回



画像出所:

<https://www.sebrae.com.br/sites/PortalSebrae/cursosonline/design-thinking-melhora-seus-resultados-nas-midias-sociais.5c5fde538783b710VgnVCM100000d701210aRCRD> (2023年2月1日閲覧)



ブラジル連邦共和国 3/3

Design Export(デザイン輸出プログラム) / ブラジル貿易投資振興庁、ブラジルデザインセンター

背景・目的

- ブラジル貿易投資振興庁(Apex-Brasil)とブラジルデザインセンター(CBD)がパートナーシップを締結し、2012年から展開している
- 輸出用の製品とパッケージの開発を支援し、ブラジル企業の海外での競争力強化を図る

概要

- 国際市場に向けたパッケージや製品の製作のため、技術的・財政的支援に加え、コンサルティングやトレーニングを提供する
- プログラムの対象はデザイン性のある製品・パッケージを利用して国際市場への参入を目指すブラジル企業
- 新製品や新素材の開発プロセスの全ての段階において企業を支援し、プロセスの管理に必要な情報や支援を提供し、市場におけるイノベティブな技術の導入のリスクを軽減することを目指す
- 2020年時点でブラジルデザインセンターは国内のおよそ400社に対しサービスを提供、輸出の61%増に貢献している



Cases Design Export



Finamac

A Finamac é uma empresa brasileira referência no mercado de máquinas e equipamentos para fabricação de sorvetes e chocolates, com mais de 40 patentes...



Anodilar

Não é à toa que o México foi o primeiro país a ter sua culinária reconhecida como patrimônio cultural imaterial da humanidade, título concedido...



Seu Ninico

"Levar ao mundo o verdadeiro pão de queijo" já era a missão da empresa Seu Ninico quando ela foi criada, em 2009. Em 2014...

画像出所: <https://www.cbd.org.br/design-export/>
(2023年2月1日閲覧)

文化政策

クリエイティブ産業

手工芸品

産業振興

表彰制度

イノベーション



ペルー共和国 1/3

概要

- ペルー社会の多様な文化や民族という背景から生じる文化の問題を解決するための文化政策を実施。民族や居住地域を問わず、全ての国民の文化的権利を実現することを目的に「2030年までの文化に関する国家政策」(Politica Nacional de Cultura 2030)を策定
- バリューチェーンのイノベーション、競争力強化を目的に手工芸品に特化したデザイン賞も実施

主な取組

1. 「2030年までの文化に関する国家政策」/Politica Nacional de Cultura al 2030

- ・市民の文化的権利の問題に取り組むため、6つの重点目標と26の戦略的ガイドラインを設定。デザインには言及していないものの、クリエイティブ産業の振興が重点目標の1つとなっている
- ・重点目標の1つに「芸術・文化・クリエイティブ産業の持続可能な発展を強化」することが掲げられ、文化産業人材の能力強化のためのプログラムの実施、文化事業者やプロジェクトに対する経済的インセンティブ、文化的な商品・サービス・活動の国内・国際的な流通のためのメカニズム開発、芸術作品の海外普及のための活動、影響力を持つ文化団体の持続可能性確保がガイドラインとして設定されている

2. 「文化のための経済的インセンティブ」/Estímulos económicos para la Cultura

- ・文化省は文化表現の幅広い多様性を促進するため、映画や視聴覚プロジェクト、舞台芸術、視覚芸術、音楽、書籍、読書推進への融資政策を実施

3. 「ペルー手工芸品国家デザイン賞」/Premio Nacional de Diseño de la Artesanía Peruana

- ・貿易・観光省が手工芸品を対象としたデザイン賞を実施。ペルーの工芸品のバリューチェーンにおけるイノベーションと創造性を促進し、工芸品部門の競争力強化、文化的アイデンティティの多様性への貢献、持続可能な開発、国のツーリズムの強化に寄与することを評価する
- ・カテゴリーはプロダクトデザイン・開発、生産プロセス、革新的なビジネス。観光産業やその他のビジネスに貢献しうる手工芸品を特に抽出するものであり、デザインの幅も手工芸品と狭い対象となっている

ペルー共和国 2/3



La Bienal de Diseño de Perú (LA BIENAL)

/デザインビエンナーレペルー

背景・目的

- 2017年に「デザイン産業全体」を振興するために組織された
- アメリカ大陸では先駆的なイベントであり、世界でも3本の指にはいるデザインビエンナーレとして認識されている

概要

- ビエンナーレの期間中は、デザイン作品の展示を中心に、アワード、プレゼンテーション、ファッションショー、会議など、インカの国をこの地域のデザイン分野の中心地とするための一連のアクティビティが開催される
- ビエンナーレで展示される作品は、グッドプラクティス、クリエイティビティ、イノベーション、社会・文化に対する貢献の良い見本となる必要があり、2021年には世界50か国から92,768点の応募があり、360点が採用された
- 対象となるデザインは、コーポレートアイデンティティ、パッケージ、プロダクト、サービス、エディトリアル、ポスター、イラストレーション、タイポグラフィ、UX/UI、社会的責任、ファッション、インダストリアル、インテリアである



画像出所: La BIENAL 公式HP
<https://labienal.pe/ediciones/> (2022年12月14日閲覧)

参考URL: LA BIENAL 公式HP <https://labienal.pe/> (2022年12月14日閲覧)



ペルー共和国 3/3

Programas de Formación Online

(オンライントレーニングプログラム) / ペルーデザイン協会

背景・目的

- 「デザイン産業の全体」を振興することを目的に設立されたデザイン協会
- 専門性の高い教育プログラムを開発し、業界の発展に貢献する

概要

- 提供されている分野と各コース(コースの期間は概ね6か月)
 - アート、デザイン、広告
 - ・ アートディレクション、会計管理、クリエイティブディレクション、ブランドマネジメント
 - デザインとエクスペリエンス
 - ・ サービスデザイン、インタラクションデザイン、ARとVR、AI
 - インダストリアルデザイン
 - ・ プロダクトデザインのディプロマコース
 - インテリアデザイン
 - ・ 商業・リテール空間
 - デザインとファッション
 - ・ ファッションブランドマネジメント、クリエイティブディレクション、デジタルデザイン、靴・カバン、ジュエリー



画像出所: ペルーデザイン協会 公式HP
<https://asgrap.com/programas-de-educacion-virtual/> (2022年12月14日閲覧)

参考URL: ペルーデザイン協会公式HP <https://asgrap.com/programas-de-educacion-virtual/> (2022年12月14日閲覧)

地方政府

クリエイティブ経済

公共領域への活用

政府ラボ

社会課題解決

社会的インパクト



メキシコ合衆国 1/4

概要

- 近年は国策としてクリエイティブエコノミー推進のイニシアチブ「クリエイティブメキシコ」を実施
- ワールドデザインキャピタルに任命されたメキシコシティ、省庁内にデザイン部門を設けデザイン推進のためのプラットフォームを構築するハリスコ州など、地方政府レベルで独自のデザイン政策が進められる

取組

1. メキシコクリエイティブ/México Creativo

- ・文化省(Secretaría de Cultura)主導のクリエイティブエコノミー促進のためのイニシアチブ。バリューチェーンの強化による、文化的・創造的なエコシステムの再活性化を目指し、トレーニングとリサーチという2つの戦略的アクションを展開する

2. ハリスコ州の取組

- ・ハリスコ州文化省(Ministry of Culture of Government of Jalisco)は芸術振興局の中に学際・デザイン部門を設立、デザイン振興のための様々なプログラムを実施
 - **Plataforma Activa de Diseño: PAD Jalisco**(アクティブ・デザイン・プラットフォーム): 公共の利益に焦点を当てた社会的インパクトのあるプロジェクトを支援するためのレジデンス・資金援助プログラム
 - **Pre-Diseño**(プレデジーノ): メキシコ初で唯一のデザインリサーチとプロトタイプのための基金

2. メキシコシティの取組

- ・ユネスコ創造都市ネットワークデザイン分野での加盟(2017)、ワールドデザインキャピタルに選定(2018)
- ・**Laboratorio para la Ciudad de México(LABCDMX)**/メキシコシティのための研究所
メキシコシティ政府の実験・クリエイティブ部門であるラテンアメリカで初の政府ラボラトリー。大都市の抱える課題を解決する市民参加型の創造的な方法を模索し、都市の未来の可能性を調査する

メキシコ合衆国 2/4



¿QUÉ ES DISEÑO PARA LA CIUDAD? (デザインとは何か?) /
Laboratorio para la Ciudad de México
(LABCDMX、メキシコシティのための研究所)

背景・目的

- LABCDMXは市民参加型の創造的な方法でメガロポリスの抱える課題を解決することを目指すメキシコシティ政府の実験・クリエイティブ部門
- 市民と共同で都市・社会を変革していくため、ソリューションの創造、イノベーション、戦略など広義のデザインという考えを市民にも広めることを目的に「デザインとは何か？」キャンペーンを実施

概要

- デザインが日常生活といかに結びついているか、デザインの価値とポジティブな変化を生み出す可能性を伝え、広義のデザインの認知度を高め、デザインに対する興味や好奇心を生み出すことを目指す
- 地下鉄を中心に、橋の下、バスシェルター、エルミタ駅の展示スペースでキャンペーンを展開する
- 市民がデザインに関するさまざまな視点、意見、日常品、取り組み、プロジェクトについて批判的な考察を行い、創造性の活用の可能性を幅広く示すことができるよう、対話を促していく



Campaña ¿Qué es diseño para la Ciudad?

画像出所: LABCDMX 公式HP
<https://labcd.mx/?s=Dise%C3%B1o+para+la+inclusi%C3%B3n>
 (2022年12月14日閲覧)



メキシコ合衆国 3/4

Pre Diseño / ハリスコ州文化省 デザイン・学際部門

背景・目的

- メキシコ初で唯一のデザインリサーチとプロトタイプのための助成金
- 政府は通常、明確な成果物を伴うプロジェクトに資金を提供するが、デザイン・学際部門は州政府に対しプロトタイプの概念を紹介し、デザインプロセスの最も重要な部分であるプロトタイプに資金を提供することを提案

概要

- ハリスコ州のプロのデザイナー、学生が対象
- プロトタイプ、モデル、デザイン研究の開発を行う6つのプロジェクトに対し12,500ペソ/件の資金を提供する
- デザインのカテゴリーはコミュニケーションのデザイン(情報、ビジュアル、パッケージ等)、プロダクトデザイン(オブジェクト、ファッション、製品等)、空間(インテリア、建築等)、サービス・システム(サービス、インタラクション等)
- 3回目となった2021年のテーマは「ジェンダー」「デザインと教育」「多様な素材の統合」「代替素材」「ガバナンスのプロセスとモデル」「気候変動とサステナビリティ」



画像出所:

<https://sc.jalisco.gob.mx/convocatorias/formacion-yo-especializacion/9872> (2022年12月14日閲覧)

参考URL:

<https://sc.jalisco.gob.mx/convocatorias/formacion-yo-especializacion/9872> (2022年12月14日閲覧)、
<https://www.whatdesigncando.com/stories/design-could-transform-how-things-work-in-government/> (2022年12月14日閲覧)

メキシコ合衆国 4/4



PAD JALISCO(Plataforma Activa de Diseño) / ハリスコ州文化省 デザイン・学際部門

背景・目的

- 公共の利益に焦点を当てた社会的インパクトのあるプロジェクトを展開するデザイナー支援のためのプラットフォーム

概要

- PAD レジデンスプログラム
 - ・ メキシコ全土のデザイナー(学生、プロ)を対象にグアダラハラでの6ヶ月間のレジデンスを提供し、資金援助、ブランディング、設備を備えたスタジオ等の提供による支援を行う
 - ・ ジェンダーや平等、デザインの理論と批評、教育、文化的多様性、気候変動と持続可能性等の課題に対応するプロジェクトが求められる
 - ・ ハリスコ近郊のバナナ農園から出るプラスチック廃棄物の新しい用途を見つけるプロジェクト、高密度住宅を女性にとってより安全にするためジェンダー的アプローチで建築研究を行うプロジェクトなどに資金援助が行われている
- PADプログラム デザイン入門
 - ・ ハリスコ州の近隣の州で活動するデザイナーを対象に、ハリスコ州内の自治体で子ども・若者を対象としたデザインのワークショップ開催のための資金を提供する
 - ・ 提供される資金は1件あたり3万ペソ。開催地はグアダラハラ大都市圏以外の自治体で、ワークショップでは開催される地域の材料、資源、要素、コミュニティの文化を用いることが望ましいとされる

Murales/Empatizem



Pintaron un mural de manera participativa basados en principios gráficos y técnicas de collage.



Pad Jalisco FFC A

Sew-your-own clothing for kids



Kit que enseña a niños a fabricar sus propias prendas de ropa. Las piezas de textil vienen con hoyos para que ellos puedan tejerla.

Además, utiliza un tipo de textil sostenible.



Pad Jalisco FFC A

画像出所:

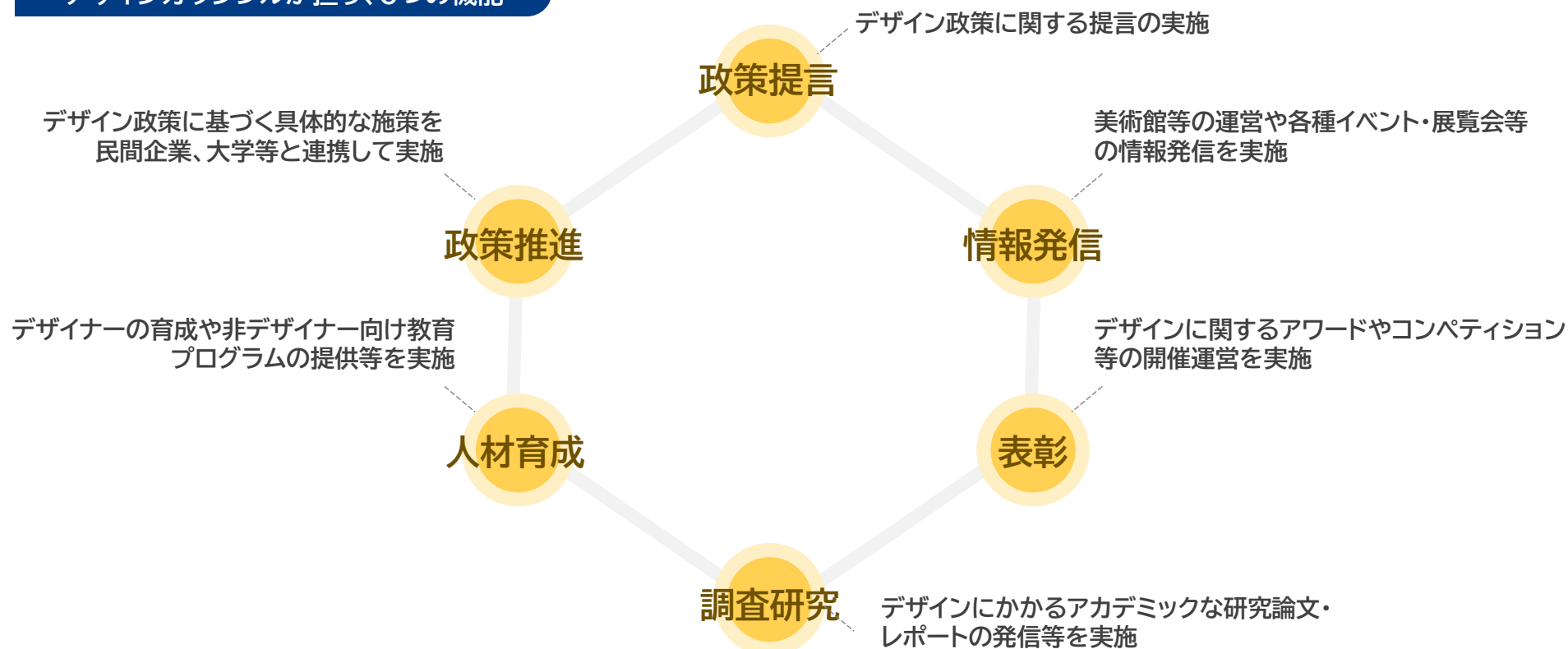
https://docs.google.com/presentation/d/1IGVXKfH6H5eEAVZr14FXKT5AKQY1CDMTU6ZL4oDqQ0/edit#slide=id.g13e46f16cf6_0_48
(2022年12月14日閲覧)

参考URL: <https://sc.jalisco.gob.mx/convocatorias/10337>, <https://sc.jalisco.gob.mx/convocatorias/10534>, (2022年12月14日閲覧)

比較分析：中南米諸国のデザインカウンシルに類する組織 1/5

- 先進国の多くには、デザイン政策やデザイン振興を包括的に検討・推進するデザインカウンシル等の中間組織が存在。中南米諸国においても、今回調査した6か国のうち、4か国（アルゼンチン、チリ、ブラジル、ペルー）に同様な機能を担う組織を確認した

デザインカウンシルが担う、6つの機能



出所）経済産業省「我が国の新・デザイン政策研究」概要版報告書

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/human-design/file/2022MRIreports/gaiyo.pdf（最終閲覧日2023年2月2日）

比較分析：中南米諸国のデザインカウンスルに類する組織 2/5

組織概要



拠点：ブエノスアイレス

人員体制：－

予算：－（公開情報から取得できず）

URL：

<https://www.buenosaires.gob.ar/cmd>

主な活動内容

Centro Metropolitano de Diseño (CMD)

アルゼンチンの首都ブエノスアイレス市の主要なデザイン・産業機関として2001年に設立。デザイン産業の活性化を目的にデザインに関する民間・公的イニシアティブの支援を行う。近年は起業家支援やインキュベーションといった活動に注力している

政策提言：

- 公的なイニシアティブの支援を行っているとの記載があるものの、具体的な政策提言に関しては情報が公開されておらず不明

政策推進：

- 毎年10月に会議、展示会、ワークショップ、教育、インタラクティブな活動などを展開するFestival Internacional de Diseño(ブエノスアイレス国際デザインフェスティバル)を運営している

人材育成：

- 起業家の成長を目的とした無料のトレーニングプログラムAcademia BA Emprendeや繊維、皮革製品、家具業界のノウハウを無料で提供する学校Escuelas de Oficiosなどを運営している

調査研究：

- 2015年まではセンター内において戦略的思考、デザイン、イノベーションに関連する調査研究を行う Instituto Metropolitano de Diseño e Innovación (IMDI) による活動が行われていたが、その後の動向は不明

表彰：

- 公開情報からは確認できず(起業家を対象としたコンテストは運営している)

情報発信：

- デザインに関する最新トピックやデザインの優良事例など積極的な情報発信を行っている

比較分析：中南米諸国のデザインカウンシルに類する組織 3/5

組織概要



拠点：一公開情報から確認できず

人員体制：39人

予算：一公開情報から取得できず

URL：<https://asgrap.com/>

主な活動内容

Chile Diseño

1994年設立のデザイン業界団体。デザインに対する理解を促し、デザインをチリの経済、社会、文化の発展における戦略的なツールとして位置づけることを目指す。民間の非営利団体ではあるものの、チリ政府が実施するチリクリエイティブなどの政策にも関与している模様

政策提言：

- HP上では政府機関との議論・協働の欄に、CNCA理事、デザイン国家政策との記載あり

政策推進：

- HP上の政府機関との議論・協働の欄にDirectorio Chile Creativoとの記載があり、政府の推進するチリ・クリエイティブに関与している

人材育成：

- 教育機関の既存プログラムを紹介するに留まるが、講演会・ウェビナーなどを提供している

調査研究：

- 国のデザイン戦略の中で2013～2015年の業界の成長を比較・分析したとの記述があるものの、HP上では調査研究の具体的な活動は記載されていない

表彰：

- 国家レベルのデザイン賞である「チリデザインアワード」を主催する

情報発信：

- HP上では自組織の催すプログラムやイベント等に関する情報は発表しているものの、デザイン産業の動向、デザインに関するニュースなどは取り扱われていない

比較分析：中南米諸国のデザインカウンシルに類する組織 4/5

組織概要



拠点：パラナ州クリチバ

人員体制：-

予算：-(公開情報から取得できず)

URL: <https://www.cbd.org.br>

主な活動内容

Centro Brasil Design(CBD)

90年代に設立されたパラナ州のデザインセンターを前身とするブラジルにおける主要なデザイン振興拠点。「Um hub que fomenta a cultura do design no Brasil!(ブラジルのデザイン文化を推進する拠点に!)」をスローガンとして掲げ、コンサルティングやデザインプログラムを通じ、ブラジルの産業界におけるデザイン活用を促進する

政策提言：

- ・ 国策「ブラジルデザインプログラム」の作成に関与していた

政策推進：

- ・ 開発・産業・対外貿易省が提唱したデザイン促進イベントBienal Brasileira de Designの運営、ブラジル貿易投資促進庁によるデザイン輸出プログラムも実施する

人材育成：

- ・ 国際市場に向けてデザインの優れた製品を開発するための企業支援プログラムPrograma Design Exportにおいて、起業家を対象としたトレーニングを実施している

調査研究：

- ・ ブラジルのデザインの最先端を提示し、デザイン部門を強化することを目的とした研究冊子『Diagnostic Review Of Design In Brazil』を公開しているが、2014年以降更新されていない

表彰：

- ・ 国内のベストプロジェクトやデザイン事務所を評価する、ブラジルで最も権威のあるデザイン賞Brasil Design AwardやDesign for a Better World Award(DFBW Award)を運営している

情報発信：

- ・ デザインの優良事例の紹介やデザインを産業に取り入れる方法など多様な情報を発信している

比較分析：中南米諸国のデザインカウンスルに類する組織 5/5

組織概要



拠点：リマ

人員体制：一公開情報から取得できず

予算：一公開情報から取得できず

URL：<https://asgrap.com/>

主な活動内容

Asociación Peruana de Diseño

民間組織であるペルーデザイン協会は、デザインをビジネスや経済・社会的なサステナビリティの重要なツールと捉え、「デザイン産業の全体を振興する」ことを目的に活動を展開。R&D、情報マネジメント、コミュニケーション、知識の戦略的マネジメント、文化事業の5部門があり、特に企業向けのコンサルティングやオンライン教育プログラムを充実させている

政策提言：

- HP上では外務省、労働・雇用促進省、文化省との協働という記述があるものの、政策提言に関する活動は不明

政策推進：

- 公開情報からは確認できず

人材育成：

- デザイン教育のためのオンラインプログラム、企業向けのコンサルティングサービスを充実させている

調査研究：

- 組織内にある5部門のうち1つはR&D部門であるものの、具体的な調査研究の内容については公開情報からは把握できない

表彰：

- ナショナルデザイン賞 (Premios Nacionales de Diseño)を主催する

情報発信：

- HP上では自組織の催すプログラムやイベント等の案内の他、デザイン業界の動向、デザインに関する多様なニュースも発信する

比較分析：中南米諸国のデザイン表彰制度 1/6

- 中南米諸国の多くにはデザイン表彰制度が存在し、一部の国ではデザインの社会的価値を評価している
- 一方、コロンビアではイノベーション促進に関連した表彰制度が多く、デザインに関する表彰制度は限定的である

1 コロンビアのデザインに関する表彰制度は限定的

- ・ コロンビアでは、イノベーション促進に関連した表彰制度には力を入れている一方で、デザイン分野に特化した表彰制度は少ない。民間広告代理店による「国際エルドラド賞」がデザインアワードとして開催されているが、規模が小さく、受賞特典等も他国と比べ限定的である

2 中南米諸国にはそれぞれ大規模なデザイン表彰制度が存在している

- ・ コロンビア以外の他中南米諸国では、デザイン振興団体や政府等が連携して国家レベルのデザインアワードを運営している国が多い。受賞特典として賞のロゴ使用权やプロモーション支援などを設けることで、製品の付加価値の向上にも貢献している

3 デザインの社会的価値を評価する仕組みがある

- ・ チリ、ブラジル、メキシコの表彰制度は、デザインを社会課題解決に活用したプロジェクトを表彰する部門を設けるなどして、デザインの社会的価値を評価する仕組みづくりをしている

2. 先進国、他の中南米諸国のデザイン政策

比較分析：中南米諸国のデザイン表彰制度 2/6

制度名		 国際エルドラド賞 (Festival Internacional El Dorado)	 コスタリカデザイン賞 (Sin Pena con Gloria)	 チリデザイン賞 (Sin Pena con Gloria)	 DFBW Award (Design for a Better World Award)
背景・目的		2012年に創設されたコロンビア最大級のクリエイティブフェスティバル及び表彰制度 - コロンビア国内の広告、ブランド、コミュニケーションの発展に貢献している優れたクリエイティブ作品を表彰し、素晴らしいアイデアを促進することを目的とする	2022年に創設されたデザインウィークコスタリカ内で行われるコスタリカ初のデザイン賞 - コスタリカのデザイン部門の創造性と革新性、クリエイティブ産業に対する貢献度を評価することを目的とする	2005年から2年ごとに実施されている表彰制度 - 社会や文化、経済に対するデザインの影響力と関連性を明らかにしたプロジェクトを評価し、デザインの重要性和価値を広めることを目的とする	2021年に開始した新しいデザイン賞 - デザインを通じてより良い世界を築くための影響力を持つ取組やソリューションを評価することを目的とする
制度概要	主催者	民間広告代理店「SLIDEDEPOT」	民間組織「デザインウィークコスタリカ(Semana del Diseño Costa Rica)」(文化青年省などが支援)	デザイン業界団体「チリデジノ(Chile Diseño)」	民間組織ブラジルデザインセンター(Centro Brasil Design)
	社会課題解決関連 審査部門	—	—	社会インパクト賞：差し迫った社会的課題に取り組むことにより、重要で前向きな変化やコミュニティの幸福にプラスの効果をもたらしたプロジェクトに与えられる	デザイン、グラフィックデザイン・UX/UIデザイン、オンライン・オフラインコミュニケーションデザイン、建築・建設デザイン、都市デザイン、コンセプト
	主な受賞特典	- トロフィー・賞状の授与 - セレモニーへの参加	- 現代美術・デザイン博物館で展示される - トロフィーの授与 - レクチャーシリーズ、ワークショップへの参加	- 授賞式への参加 - 賞のロゴ使用権 - 賞のカatalogへの掲載 - プロモーション支援	- トロフィーの授与 - カタログ、公式サイトへの掲載
備考		社会課題解決に特化した審査部門はないが、デザイン部門の過去受賞作品の中には、社会課題解決に貢献する成果を残したものも含まれている	—	社会インパクト賞以外の賞に関しても、審査基準に「環境」という観点で、プロジェクトが社会やコミュニティ、地域経済や文化に与えたプラスの影響を評価する項目が入っている	ソリューションに主眼が置かれているため、一般的なデザイン賞と同様のカテゴリーであっても何らかの課題解決を志向するものでなくてはならない

2. 先進国、他の中南米諸国のデザイン政策

比較分析：中南米諸国のデザイン表彰制度 3/6

制度名		 ブラジルデザインアワード (Brasil Design Award)	 ナショナルデザイン賞 (Premios Nacionales de Diseño)	 ナショナルデザイン賞 (Premio Nacional de Diseño)
背景・目的		2010年に創設された、国内市場のベストプロジェクトやブラジルのデザイン事務所を評価する、ブラジルで最も権威のあるデザイン賞 - ブラジルのクリエイティブ能力を認識し、その知名度を高めることを目的とする	社会や文化、経済に対するデザインの影響力と関連性を明らかにしたプロジェクトを評価し、デザインの重要性和価値を広めることを目的として実施されている国家レベルの表彰制度	2015年から実施されている表彰制度 - デザインの戦略的活用によってイノベーションを展開し、国民の生活の質の向上と企業・団体の競争力強化を実現した企業・団体・デザイナーを表彰することを目的とする
制度概要	主催者	デザイン振興団体「ブラジルデザインセンター(Centro Brasil Design)」とブラジルデザイン会社協会(Abedesign)	デザイン振興団体「ペルーデザイン協会(Asociación Peruana de Diseño)」	デザイン振興団体「デザインメキシコ(Diseña México)」
	社会課題解決関連 審査部門	ソーシャルデザイン部門:SDGsに紐づけられた7つのカテゴリーが設けられ、各カテゴリーにてSDGsの達成に貢献したデザインプロジェクトに与えられる(2022年度より創設)	不明	- 特別賞:技術開発、社会開発、起業家精神、経済学、コンセプト設計などの分野でプラスの影響を与えたプロジェクトに授与される - 国連環境機関賞:気候変動、種の絶滅、汚染など、人類が直面している主な問題の解決に役立つデザインプロジェクトに授与される
	主な受賞特典	- 表彰状及びメダル・トロフィーの授与 - 公式マーク使用权 - 賞のデジタルカタログへの掲載	不明	- 公式展示への参加 - 賞のカタログへの掲載 - スペインのイベロアメリカンデザインビエンナーレへの推薦
備考		—	公開情報が乏しく、制度詳細や規模・影響力などは不明	2016年と2017年に日本のグッドデザイン賞からディレクターの派遣を受け、評価手法などの支援を受けた

比較分析：中南米諸国のデザイン表彰制度 4/6

- 審査手法が詳細に公開されているコスタリカとブラジルの表彰制度について、審査手法の具体事例として示す

Sin Pena, con Gloria (コスタリカ)

審査ステップ：審査員による投票制

- 審査員は各プロジェクトの品質フォームを元に投票し、スコアの合計得点の高い者が受賞者として選ばれる

審査員

- 審査員は各カテゴリーで豊富な経験と実績を持つ、国際的なデザインの専門家らによって構成される

選定基準

- 審査の基準として、クリエイティビティ、イノベーションへの貢献度、技術的な生産、材料、仕上げの品質と実行力、問題の解決に向けたコミュニケーションの目的と貢献度、機能性、実験性が挙げられている

審査部門

- ファッション・プロダクト（インナーウェア、テキスタイル、アクセサリ、プロダクト）
- グラフィック（ブランディング、パッケージ、エディトリアル、ポスター、アニメーション・キャラクター、環境グラフィックデザイン、応用イラストレーション）
- 体験と空間（体験型デザイン、インテリア、ランドスケープ）

ブラジルデザインアワード(ブラジル)

審査ステップ：3段階方式

- 一次審査：140名の審査員が個別審査を行い、平均スコア7点以上を獲得したプロジェクトが二次審査に進む
- 二次審査：一次審査通過の中から受賞作品を選定する。0～7.9点を獲得したプロジェクトにはブロンズ、8.0～8.9点にはシルバー、9.0～10点にはゴールドが与えられる
- 三次審査：ゴールド受賞作品の中からグランプリを決定する

審査員

- 各審査部門ごとに10名程度で構成された審査員団によって評価

選定基準

- 提出された作品の目的や内容、写真、動画にもとづき評価
- 審査委員長は、各カテゴリーの特性に応じて、審査員とともに最適な評価基準を定めることができる

審査部門

- ブランディング、クラフトデザイン、環境デザイン、パッケージデザイン、製品デザイン、サービスデザイン、デジタルデザイン、エディトリアルデザイン、グラフィックデザイン、ソーシャルデザイン、持続可能なデザインの合計11部門

比較分析：中南米諸国のデザイン表彰制度 5/6

社会課題解決関連の受賞事例 / チリデザインアワード2021 社会インパクト賞受賞作品

Hecho en Casa Tour Chile 2021 (ホームメイドツアー チリ 2021)

背景・目的

- 公共空間での文化と芸術へのアクセスという重要な社会課題に対する官民の取り組みを明確にするための都市美術展
- 2021年で7回目の開催となった

概要

- チリ国内の4都市を巡回
- 展示会場に設置された作品を市民が訪れ、作品に触れ、その体験をSNSで共有するイベント
- 100万人以上の来場者を集め、パブリックアートの体験を通じて文化へのアクセスを拡大することに貢献した



画像出所: チリデザインアワードHP
<https://www.veredictas.com/es/trabajo/16356/hecho-en-casa-entel-tour-chile-2021> (最終閲覧日 2023年1月30日)



画像出所: Hecho en Casa Tour Chile 2021
<https://www.veredictas.com/mmedia/treballs.doc/76c5f464ee653639e37e7ffdf37a99.pdf> (最終閲覧日 2023年1月30日)

比較分析：中南米諸国のデザイン表彰制度 6/6

社会課題解決関連の受賞事例 / メキシコナショナルデザイン賞2019 特別賞受賞作品

Casa de aseó (トイレハウス)

背景・目的

- 国連SDG2030に関連して、農村部や周辺地域の社会的疎外度の高いコミュニティにおける屋外衛生面の問題を解決することを目的としている
- 社会開発、環境工学、インクルージョン、公衆衛生の分野を統合して設計されている

概要

- 個人用宿泊施設となっており、汚水や洗濯に使用した石鹼水などを集約して処理するためのシステムや、換気などを行い衛生的に生活できる空間を設計



画像出所)メキシコナショナルデザインアワード2019 デジタルカタログ
https://www.premiodisenamexico.mx/files/ugd/9b75c0_80dcae41933445c5b6c66a0f5b1c0e25.pdf
 (最終閲覧日 2023年1月30日)

Ecorail (エコレイル)

背景・目的

- 暴走する自動車を衝撃の瞬間に助ける吸収・変位システムで、車内の死亡率や死亡事故の大幅減少を目的とする

概要

- タイヤと天然高分子の混合物をリサイクルして得られる粉体ゴムの利用による持続可能な素材を活用した衝撃吸収・変位システム「エコレール」を設置する
- 回転するコマと同様の構造で、回転しながらバウンド運動を防ぎ、衝撃エネルギーで衝突するのではなく、回転エネルギーで滑るよう、エネルギーを変位させる



画像出所)メキシコナショナルデザインアワード2019 デジタルカタログ
https://www.premiodisenamexico.mx/files/ugd/9b75c0_80dcae41933445c5b6c66a0f5b1c0e25.pdf
 (最終閲覧日 2023年1月30日)

参考文献リスト：アルゼンチンのデザイン政策

- 科学技術イノベーション省 アソシエティブ・デザイン・プロジェクト
<https://www.argentina.gob.ar/ciencia/innovar-para-incluir/convocatorias-del-programa-nacional-de-tecnologia-e-innovacion-social-1>
- PyMES D /BASES Y CONDICIONES PARTICULARES PROGRAMA “PLAN DE DISEÑO” SEGMENTO PYMES D
https://www.argentina.gob.ar/sites/default/files/bases_y_condiciones_4.pdf
- 文化省 連邦文化計画/Se anunció el Plan Federal de Cultura y se presentó el Programa Fortalecer Cultura
<https://www.cultura.gob.ar/el-ministerio-de-cultura-anuncia-el-plan-federal-de-cultura-y-presenta-9630/>
- アルゼンチン・グッドデザイン・シール 公式HP/Sello del Buen Diseño Argentino
<http://sbd.produccion.gob.ar/home-sbd/>
- メトロポリタンデザインセンター公式HP/Centro Metropolitano de Diseño
<https://www.buenosaires.gob.ar/cmd>
- メトロポリタンデザインセンター、IMDI - Instituto Metropolitano de Diseño e Innovación
<http://imdi-cmd.blogspot.com/p/nosotros.html>
- 文化省 トレーニングに対する助成金 Becas Formación 2022
<https://fnartes.gob.ar/becas/becas-formacion-2022>

参考文献リスト：コスタリカのデザイン政策

- コスタリカクリエイティブカルチャー戦略2020ー2030/Estrategia Costa Rica Creativa y Cultural 2020-2030
<https://mcj.go.cr/medidas-covid-19/estrategia-creativa>
- デザインコンセンティド/Diseño con-sentido <https://www.fondosdecultura.cl/>
<https://mcj.go.cr/sala-de-prensa/noticias/disenio-con-sentido-promovera-reactivacion-economica-del-ecosistema-creativo>
- IDBプロジェクト:Support for Costa Rica's Creative and Cultural Ecosystem
<https://www.gob.pe/institucion/mincetur/informes-publicaciones/473673-premio-nacional-de-diseno-de-la-artesania-peruana>
- 工芸・デザインフェア:Hecho Aquí
<https://mcj.go.cr/sala-de-prensa/noticias/feria-hecho-aqui-2022-abre-convocatoria>

参考文献リスト：チリのデザイン政策

- デザイン振興計画 /Politica de Fomento Del Diseno 2017～2022
<https://www.cultura.gob.cl/politicas-culturales/disenio/>
- 国家文化芸術開発基金/FONDART:Fondo Nacional de Desarrollo Cultural y las Arte
<https://www.fondosdecultura.cl/>
- クリエイティブエコノミー振興国家計画/Plan Nacional de Fomento ala Economía Creativa)
<https://ec.cultura.gob.cl/wp-content/uploads/2020/10/06 PlanNacionaldeFomentoalaEconomiaCreativa.pdf>
- チリクリエイティボ/ChileCreativo
<https://chilecreativo.cl/somos/>
- ガバメントラボ/Laboratorio de Gobierno
<https://www.lab.gob.cl/>

参考文献リスト：ブラジルのデザイン政策

- ブラジルデザインセンター デザイン輸出プログラムの新規登録受付 ApexBrasil Abre Inscrições Para O Novo Edital Do Programa Design Export
<https://www.cbd.org.br/noticias/apexbrasil-abre-inscricoes-para-o-novo-edital-do-programa-design-export/>
- ブラジルデザインセンター公式HP/Centro Brasil Design
<https://www.cbd.org.br>
- ブラジルデザインアワード公式HP/Brasil Design Award
<https://brasildesignaward.com.br>
- SEBRAE 公式HP
<https://oqueosebraefaz.com.br/>
- デザイン輸出プログラム ブラジルセンター公式HP
<https://www.cbd.org.br/design-export/>

参考文献リスト：ペルーのデザイン政策

- 2030年までの文化に関する国家政策/Politica Nacional de Cultura al 2030
<https://cdn.www.gob.pe/uploads/document/file/1025961/PNC VERSI%C3%93N FINAL 2.pdf>
- 文化のための経済的インセンティブ /Estímulos Económicos para la Cultura
<https://estimuloseconomicos.cultura.gob.pe/>
- ペルー手工芸品国家デザイン賞/Premio Nacional de Diseño de la Artesanía Peruana
<https://www.gob.pe/institucion/mincetur/informes-publicaciones/473673-premio-nacional-de-diseno-de-la-artesania-peruana>

参考文献リスト：メキシコのデザイン政策

- メキシコクリエイティブ/México Creativo
<https://mexicocreativo.cultura.gob.mx/>
- メキシコシティ政府ラボ/Laboratorio para la Ciudad de México
<https://labcd.mx/>
- ユネスコ創造都市、ワールドデザインキャピタル選出
<https://en.unesco.org/creative-cities/mexico-city>
- PAD ハリスコ/Plataforma Activa de Diseño (PAD Jalisco)
<https://sc.jalisco.gob.mx/convocatorias/10337>
- デザインリサーチとプロトタイプのための助成金:Pre-Diseño
<https://sc.jalisco.gob.mx/convocatorias/formacion-yo-especializacion/9872>

3. 日本によるコロンビアへの デザイン政策導入支援の可能性

3. 日本によるコロンビアへのデザイン政策導入支援の可能性

要約：グッドデザイン賞の導入について、コロンビア側は高く評価

- コロンビアにおけるデザイン政策や他の中南米諸国の動向を踏まえ、コロンビアの社会課題解決や輸出振興、イノベーションの創出に貢献し得る日本のグッドデザイン賞の制度輸出を提案
- 結果、コロンビアから高く評価いただき、本年度2月末の日本からの専門家派遣、来年度以降の本格的な導入に向けた検討を進めていくことで合意した（日本側の協力意思も併せて確認できた）

1 グッドデザイン賞は、新政権においても問題なく受け入れられる仕組みである（政権交代の影響なし）

- ・ オレンジ経済では文化と創造性を国の開発課題の中心に据え、クリエイティブ産業への支援政策を実施してきた。政権交代後もクリエイティブ産業のコロンビアにおける重要性は変わらず、多くの政策は継続の見通し（商工観光省より）
- ・ なお、グッドデザイン賞は現政権が掲げている「Economía Popular（大衆の経済）」を推進していく上で有用なツールとなり得るため、是非政策立案を視野に置いて本件に参画したい（商工観光省より）

2 グッドデザイン賞のコロンビアへの導入は、当該国家の発展に資する（コロンビア側は高く評価）

- ・ グッドデザイン賞は、見た目の美しさや機能性を評価するような単なるデザイン賞ではなく、私たちの暮らしや社会をより良くしていくための活動である。社会課題を解決するビジネスやNPO・個人の活動を広く表彰することは、良い社会的インパクトをコロンビアに与え、経済や社会の発展にも寄与するものと評価する。（商工観光省より）
- ・ イノベーションセンターやイノベーション表彰制度（イノーバ賞など）も運営しているiNNpulsaは、コロンビアにおけるグッドデザイン賞の運営主体として適任と考える。一方で、賞の運営にあたって予算・人員の確保、国内デザイン関係者への協力依頼などの調整すべき点もあり、実現可能な範囲に賞の規模をカスタマイズする必要はあるだろう（iNNpulsaより）

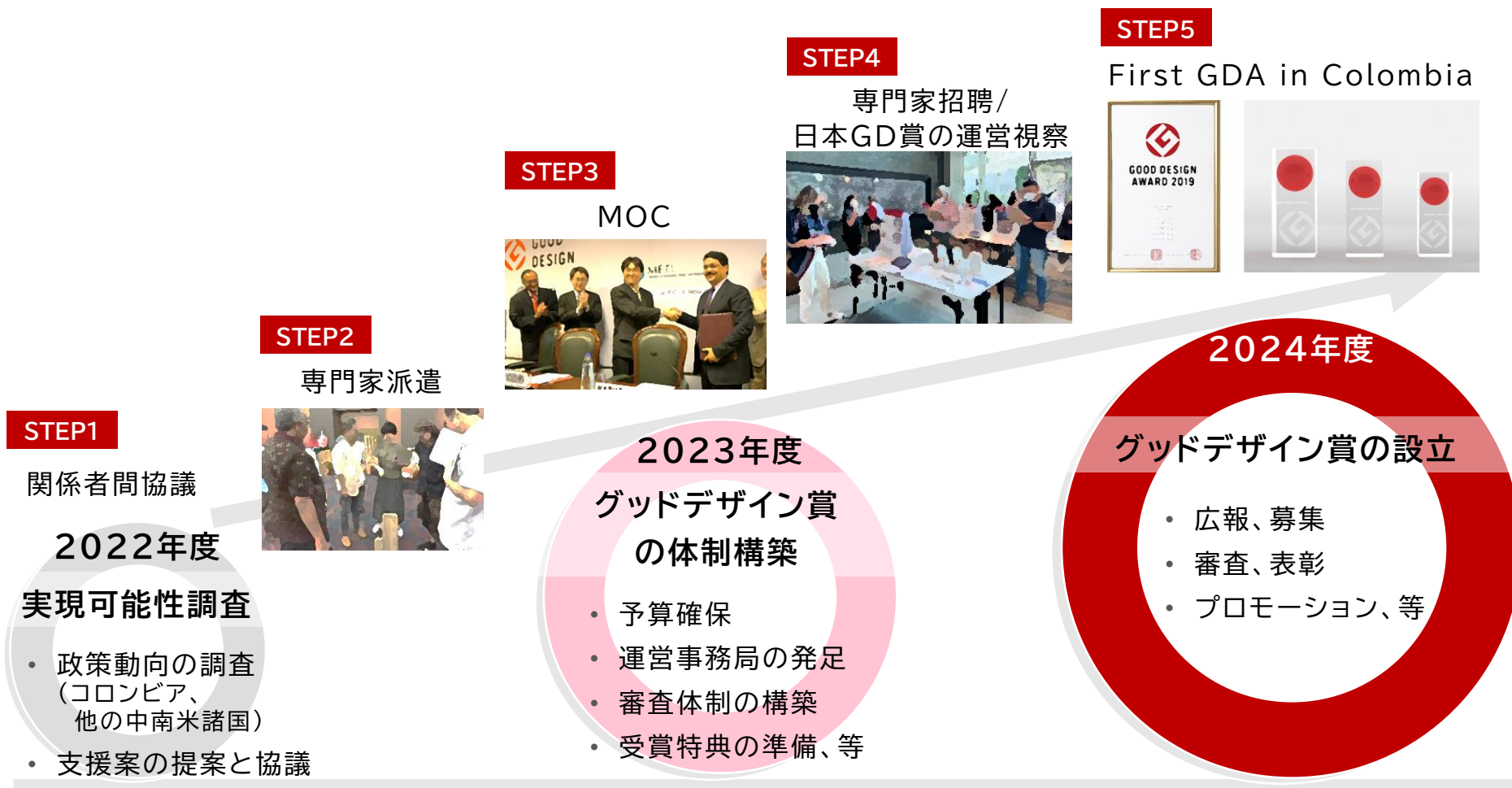
3 日本の支援機関もグッドデザイン賞の制度輸出を前向きに捉えている（日本側の協力意思を確認）

- ・ 中南米への導入は初めてであり、この新しい大陸への進出は検討に値する。コロンビアにおけるデザインの位置づけ、商工観光省やiNNpulsa等の人員や予算の規模感を踏まえ、コロンビアに適した賞の設立に対し適宜協力を行うことも視野に入りたい（日本デザイン振興会より）
- ・ 大変良い取組と思う。日本とコロンビアにおいて、グッドデザイン賞を受賞した商品・サービスを相互に共有し、それらの市場浸透を通じてより豊かな社会が実現できるように、コロンビア現地で出来る限りの支援を実施したい（JETROボゴタより）

3. 日本によるコロンビアへのデザイン政策導入支援の可能性

コロンビア政府との協議: 今後の進め方

- 2024年度のグッドデザイン賞設立に向けて、コロンビアへのグッドデザイン賞の制度輸出に向けた準備を進めていく



未来を問い続け、変革を先駆ける

MRI 三菱総合研究所